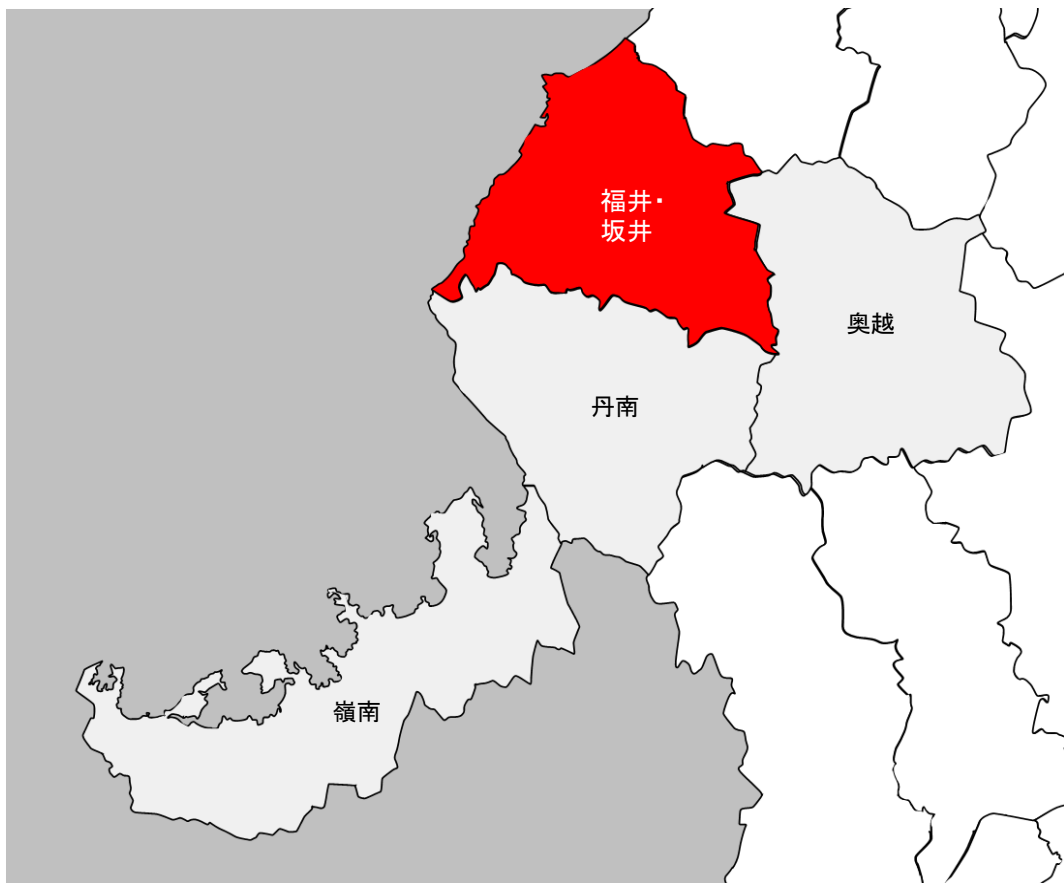


18. 福井県

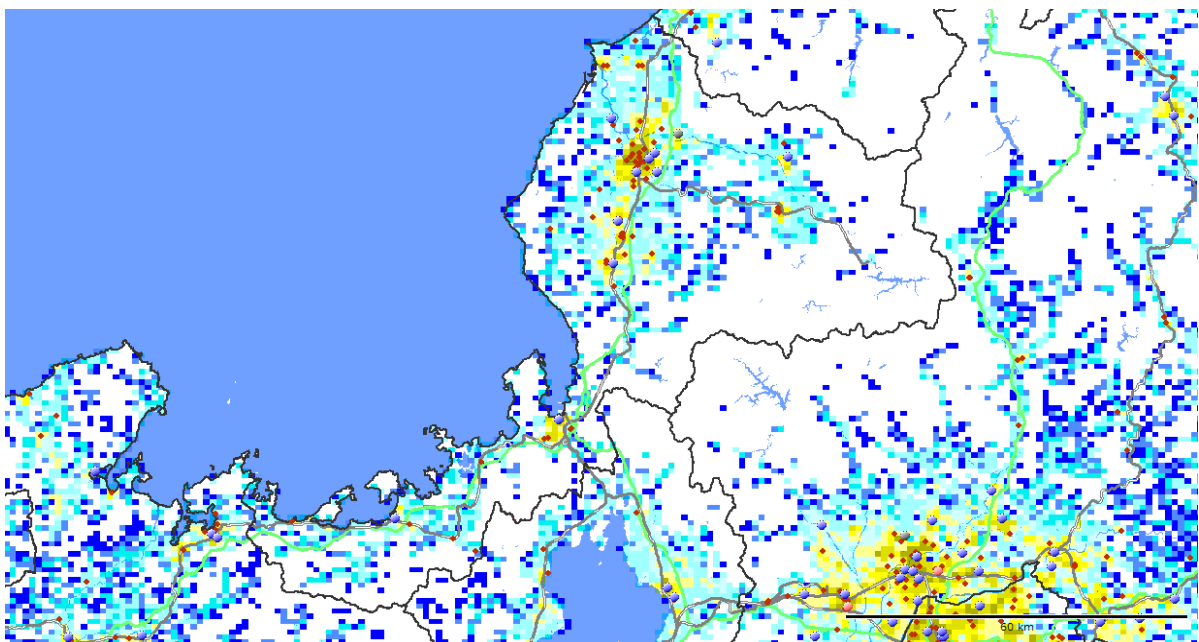


目次

福井県	18	-	3
資料編 一 当県ならびに二次医療圏別資料	18	-	8
1. 福井・坂井医療圏	18	-	20
2. 奥越医療圏	18	-	25
3. 丹南医療圏	18	-	30
4. 嶺南医療圏	18	-	35

18. 福井県

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キ口)



Ⅲ群

一般病院

（福井県） 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

（参照：資料編の図表）

【地域の概要】

***人口、面積など：** 福井県は、総人口約785千人(2015年推計)、面積4190km²、人口密度は187人/km²である。

***人口の将来予測：** 福井県の総人口は2025年に731千人へと減少し(2015年比-7%)、2040年に633千人へと減少する(2025年比-13%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の117千人が、2025年にかけて143千人へと増加し(2015年比+22%)、2040年には145千人へと増加する(2025年比+1%)ことが予想される。

***医療費と介護給付費：** 福井県の一人当たり医療費(国保)は345千円(偏差値56)、介護給付費は288千円(偏差値59)であり、医療費、介護給付費ともに高い。

【医療の現状】

***入院医療の充実度：** 福井県の一人当たり急性期医療密度指数²は1.16、一人当たり慢性期医療密度指数²は1.12で、急性期の医療も慢性期の医療も全国平均レベルである。

***医師・看護師の現状：** 総医師数³の偏差値が51(病院医師数54、診療所医師数45)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともにほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は55とやや多い。

***一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は55で、一般病床はやや多い。全身麻酔数の偏差値は49と全国平均レベルである。

***療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は52と療養病床数は全国平均レベルである。

***リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値54とやや多く、回復期病床数は偏差値48と全国平均レベルである。

***精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は51で精神病床数は全国平均レベルである。

***診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は47で診療所数はやや少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

***介護施設の現状：** 福井県の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、12085人(75歳以上1000人当たりの偏差値52)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が8559床(偏差値61)、高齢者住宅等が3526床(偏差値44)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、10116人(75歳以上1000人当たりの偏差値59)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設58、特別養護老人ホーム58、介護療養型医療施設53、有料老人ホーム41、軽費ホーム57、グループホーム46、サ高住52である。

***在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値41と少なく、在宅療養支援病院は偏差値49と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値60と多い。介護職員(在宅)の合計は、942人(75歳以上1000人当たりの偏差値40)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

***介護の2040年の需要予測：** 2040年の介護充足度指数⁴は-10%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

福井県の総人口は、2005年821592人が、2015年に784800人と4%減少し、2025年の人口が731030人と予測され、2005年→2025年の間に11%程度の減少が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に7%増加し、2015年から2025年にかけて2%程度の増加が予測される。

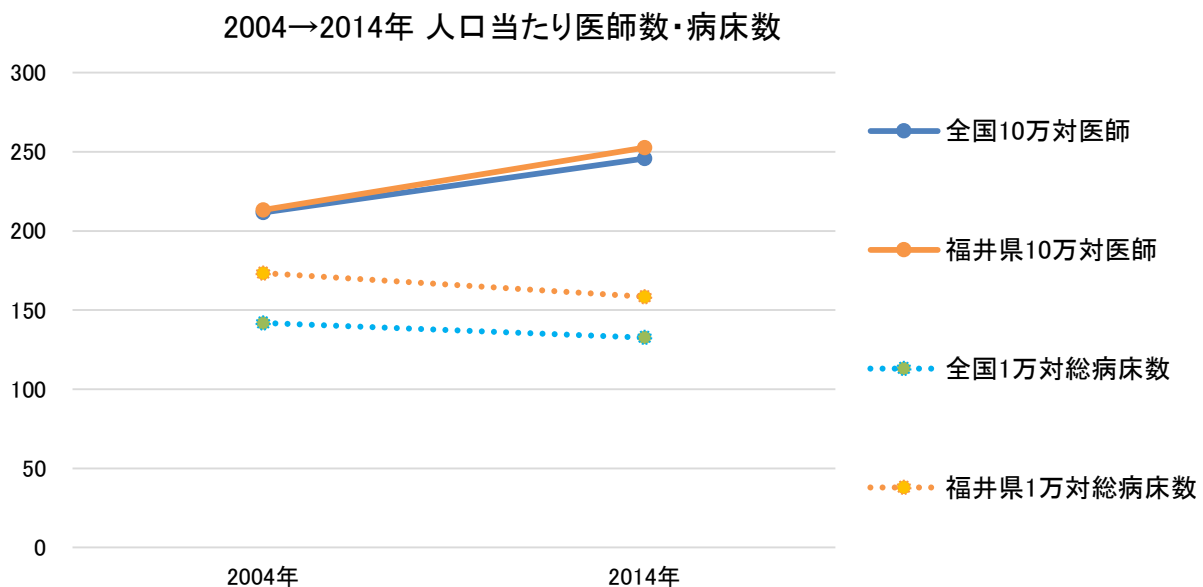
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が88(人口10万人当たり10.7病院(全国平均7.1)偏差値59)であったが、2014年に70(人口10万人当たり8.9病院(全国平均6.7)偏差値55)となり、10年間で18病院が減少した。

2004年の診療所数が564(人口10万人当たり69診療所(全国平均76)偏差値46)であったが、2014年に582(人口10万人当たり74診療所(全国平均79)偏差値47)と、18診療所が増加した。

2004年の総病床数が14242床(人口1万人当たり173(全国平均142)偏差値56)であったが、2014年に12431床(人口1万人当たり158(全国平均133)偏差値55)と、1811床の減少、率にして13%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

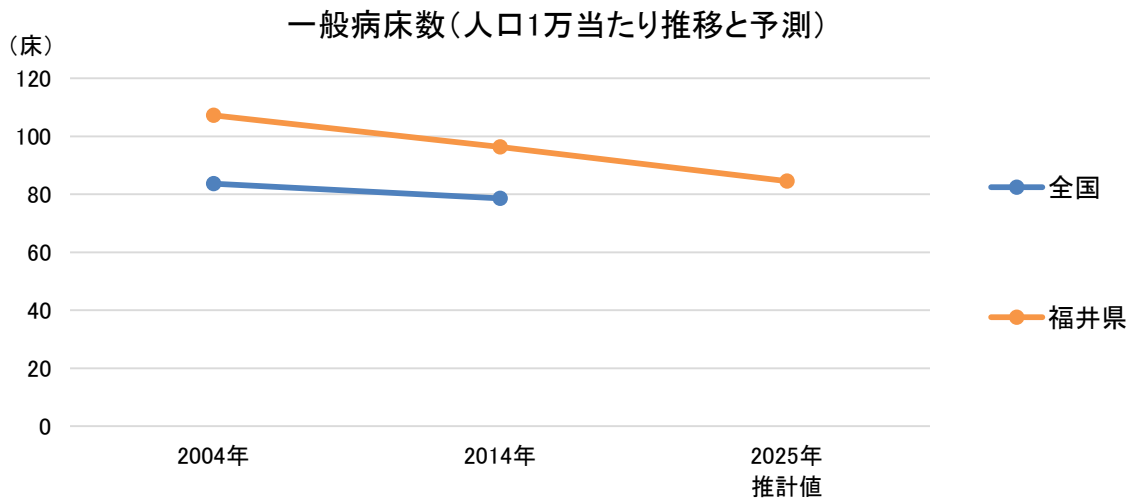
2004年には病院と診療所合わせての医師数³が1752人(人口10万人当たり213人(全国平均212人)偏差値50)であったが、2014年に1982人(人口10万人当たり253人(全国平均246人)偏差値51)と、230人の増加、率にして13%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



18. 福井県（2016年版）

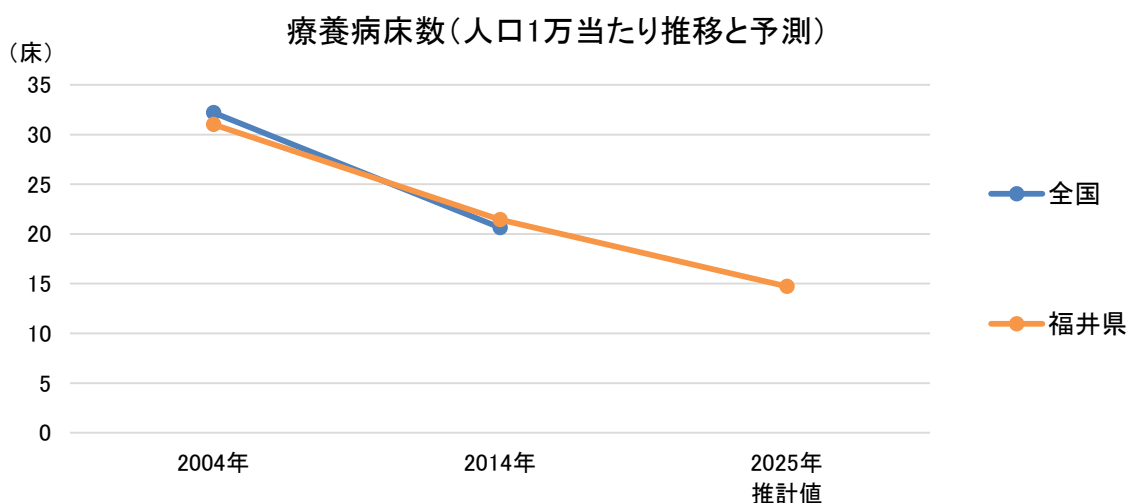
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が8810床(人口1万人当たり107(全国平均84)偏差値58)であったが、2014年に7557床(人口1万人当たり96(全国平均79)偏差値56)と、1253床の減少、率にして14%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には6179床(2025年の推計人口1万人当たり85)になることが予想される。



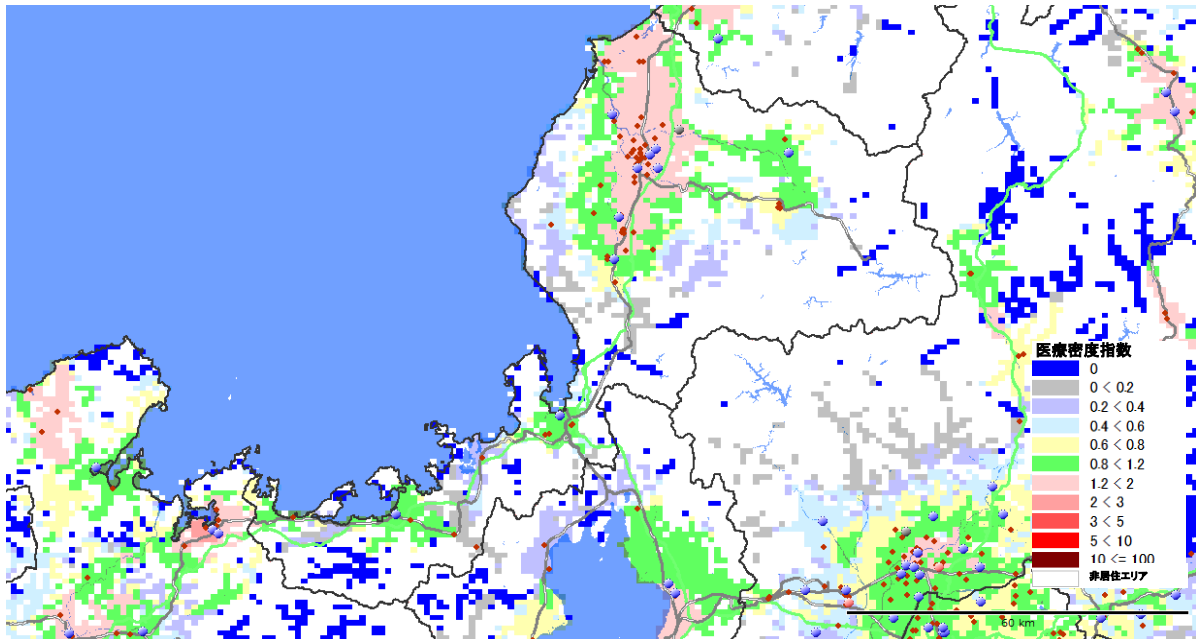
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が2883床(75歳以上1000人当たり31(全国平均32)偏差値49)であったが、2014年に2511床(75歳以上1000人当たり21(全国平均21)偏差値51)と、372床の減少、率にして13%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には2103床(2025年の推計75歳以上1000人当たり15)になることが予想される。

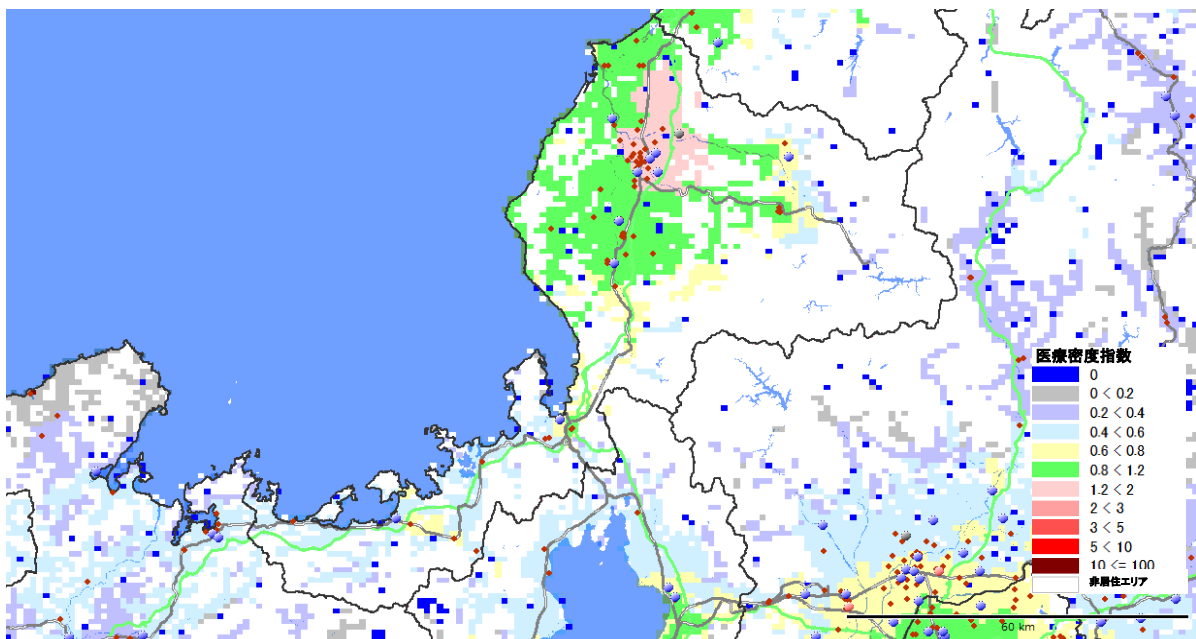


3. 医療密度⁵

図表18-1 急性期医療密度指数マップ



図表18-2 慢性期医療密度指数マップ



18. 福井県（2016年版）

資料編 ー 当県ならびに二次医療圏別資料⁶

資_図表 18-1 地理情報・人口動態

二次医療圏	人口 (単位: 千人)	県内 シェア	面積	県内 シェア	人口 密度	地域タイプ	高齢 化率	2025年 総人口 (単位: 千人)	2040年 総人口 (単位: 千人)	2015年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2025年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2040年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2015→ 25年 総人口 増減率	2025→ 40年 総人口 増減率	2015→ 25年 75歳以上 人口 増減率	2025→ 40年 75歳以上 人口 増減率
全国	126,661		372,903		339.7		27%	120,700	107,439	16,459	21,775	22,232	-5%	-11%	32%	2%
福井県	785	43位	4,190	34位	187.3		29%	731	633	117	143	145	-7%	-13%	22%	1%
福井・坂井	401	51%	957	23%	419.3	地方都市型	28%	378	331	58	73	76	-6%	-12%	26%	4%
奥越	57	7%	1,126	27%	50.5	過疎地域型	34%	49	38	11	12	11	-14%	-22%	9%	-8%
丹南	186	24%	1,007	24%	184.9	過疎地域型	28%	175	153	27	33	34	-6%	-13%	22%	3%
嶺南	140	18%	1,099	26%	127.7	過疎地域型	29%	129	110	21	25	25	-8%	-15%	19%	0%
出典	<人口(2015年、2025年、2040年)>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成25年3月 <面積>都道府県・市区町村別主要統計表 総務省統計局 平成22年															

資_図表 18-2 一人当たり医療密度指数、介護充足度指数

二次医療圏	一人当たり 急性期医療 密度指数	一人当たり 慢性期医療 密度指数	75歳以上介護充足度指数 (%)	
			2025年	2040年
全国	1.00	1.00	-26.7%	-27.2%
福井県	1.16	1.12	-8.7%	-10.3%
福井・坂井	1.47	0.56	-8.6%	-12.1%
奥越	0.82	1.07	-2.2%	3.8%
丹南	0.93	0.84	-10.9%	-12.0%
嶺南	0.75	1.10	-15.9%	-16.6%
出典	<一人当たり急性期医療密度指数><一人当たり慢性期医療密度指数>その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0が全国平均。0.8を下回ると少ない、0.6を下回ると非常に少ない、1.2以上充実、1.5以上非常に充実。 <75歳以上介護充足度指数>高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の75歳1,000人(推計)に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2016年の全国平均(99.3床)と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。			

資_図表 18-3 医療費、介護給付費⁷

二次医療圏	一人あたり 医療費 (国保のみ) (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差指数	被保険者 一人あたり 介護給付費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	319	(41)	1.000	254	(37)
福井県	345	56	0.998	288	59
福井・坂井	345	56	1.034	286	59
奥越	372	63	1.052	311	66
丹南	335	54	0.996	280	57
嶺南	343	56	1.029	290	60
出典	<一人あたり医療費>平成25年度医療費の地域差分析 厚生労働省 <一人あたり介護給付費>平成26年度介護保険事業状況報告(年報) 平成26年度累計(平成26年3月サービス分から平成27年2月サービス分まで)				

資_図表 18-4 病院数、診療所数

二次医療圏	病院数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	8,493		6.7	(4.1)	100,461		79	(19.5)
福井県	70	0.8%	8.9	55	582	0.6%	74	47
福井・坂井	35	50%	8.7	55	337	58%	84	52
奥越	6	9%	10.6	59	34	6%	60	40
丹南	18	26%	9.7	57	109	19%	59	39
嶺南	11	16%	7.8	53	102	18%	73	47
出典	平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

資_図表 18-5 診療所数(全体、無床、有床)

二次医療圏	診療所数 (再掲)	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	無床 診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	有床 診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	100,461		79	(19.5)	92,106		73	(19.0)	8,355		6.6	(6.6)
福井県	582	0.6%	74	47	501	0.5%	64	45	81	1.0%	10.3	56
福井・坂井	337	58%	84	52	288	57%	72	49	49	60%	12.2	58
奥越	34	6%	60	40	26	5%	46	36	8	10%	14.1	61
丹南	109	19%	59	39	91	18%	49	37	18	22%	9.7	55
嶺南	102	18%	73	47	96	19%	68	48	6	7%	4.3	47
出典	平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

18. 福井県（2016年版）

資_図表 18-6 病院総病床数、診療所病床数

二次医療圏	病院 総病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	病院+ 診療所 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,568,261		1,238	(503)	112,364		89	(106)	1,680,625		1,327	(565)
福井県	11,103	0.7%	1,415	54	1,328	1.2%	169	58	12,431	0.7%	1,584	55
福井・坂井	6,474	58%	1,613	57	804	61%	200	61	7,278	59%	1,813	59
奥越	546	5%	961	44	133	10%	234	64	679	5%	1,195	48
丹南	2,013	18%	1,081	47	295	22%	158	57	2,308	19%	1,240	48
嶺南	2,070	19%	1,474	55	96	7%	68	48	2,166	17%	1,543	54
出典	平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				病院総病床数と診療所病床数の合計			

資_図表 18-7 病院病床数（一般病床、療養病床、精神病床）

二次医療圏	一般 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	療養 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	精神 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	894,216		706	(229)	328,144		259	(210)	338,174		267	(219)
福井県	6,394	0.7%	815	55	2,346	0.7%	299	52	2,298	0.7%	293	51
福井・坂井	4,157	65%	1,036	64	1,001	43%	249	50	1,284	56%	320	52
奥越	302	5%	532	42	109	5%	192	47	135	6%	238	49
丹南	925	14%	497	41	694	30%	373	55	378	16%	203	47
嶺南	1,010	16%	719	51	542	23%	386	56	501	22%	357	54
出典	平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

資_図表 18-8 回復期リハビリ病棟病床数と地域包括ケア病棟病床数⁸

二次医療圏	回復期 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	地域包括 ケア 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	70,480		56	(47)	36,025		34	(48)
福井県	376	0.5%	48	48				
福井・坂井	256	68%	64	52				
奥越	0	0%	0	38				
丹南	80	21%	43	47				
嶺南	40	11%	28	44				
出典	平成26年度病床機能報告				平成28年6月地方厚生局（関東信越厚生局のみ7月公表分）。近畿厚生局は病床数データがないため非掲載。			

資_図表 18-9 公的病院病床数、民間病院病床数

二次医療圏	公的病院			民間病院			一般病床		療養病床	
	総病床数	一般病床数	療養病床数	総病床数	一般病床数	療養病床数	公的病院病床数の比率	偏差値*全国は標準偏差	公的病院病床数の比率	偏差値*全国は標準偏差
全国	549,932	467,163	29,302	1,011,492	427,742	293,995	52.2%	(24%)	9.1%	(23%)
福井県	5,370	4,268	265	5,729	2,122	2,077	66.8%	56	11.3%	51
福井・坂井	3,382	2,670	0	3,092	1,487	1,001	64.2%	55	0.0%	46
奥越	199	195	0	347	103	109	65.4%	55	0.0%	46
丹南	440	436	0	1,573	489	694	47.1%	48	0.0%	46
嶺南	1,349	967	265	717	43	273	95.7%	68	49.3%	67
出典	地方厚生局届出受理名簿平成27年5月公表データをもとに株式会社ウェルネスが集計(一部、ウェルネス独自調査含む) 公的病院はここでは、開設者が国もしくは都道府県、市町村、地方行政法人、その他の公的医療機関(日赤など)としている。									

資_図表 18-10 全身麻酔件数、分娩件数(年間)

二次医療圏	全身麻酔件数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	分娩件数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
福井県	17,016	0.6%	2,168	49	7,092	0.7%	904	53
福井・坂井	13,848	81%	3,450	62	5,076	72%	1,265	66
奥越	432	3%	760	36	0	0%	0	22
丹南	1,200	7%	645	35	972	14%	522	40
嶺南	1,536	9%	1,094	39	1,044	15%	743	48
出典	平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

資_図表 18-11 医師数(総数、病院医師数、診療所医師数)

二次医療圏	総医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病院医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	診療所医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
福井県	2,163	0.6%	276	51	1,492	0.7%	190	54	671	0.5%	86	45
福井・坂井	1,500	69%	374	61	1,089	73%	271	66	411	61%	102	50
奥越	102	5%	179	40	64	4%	113	42	38	6%	66	39
丹南	275	13%	148	37	156	10%	84	38	120	18%	64	38
嶺南	286	13%	204	43	183	12%	131	45	103	15%	73	41
出典	病院医師数と診療所医師数の合計				平成26年病院報告 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

18. 福井県 (2016年版)

資_図表 18-12 専門医数 (総合内科、小児科、産婦人科)

二次医療圏	総合内科				小児科				産婦人科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	15,664		12.4	(6.7)	12,494		9.9	(4.6)	10,443		8.2	(3.8)
福井県	100	0.6%	12.7	51	75	0.6%	9.6	49	70	0.7%	8.9	52
福井・坂井	76	76%	18.9	60	58	77%	14.4	60	50	71%	12.5	61
奥越	4	4%	7.0	42	2	3%	3.5	36	2	3%	3.5	38
丹南	8	8%	4.3	38	5	7%	2.7	34	10	14%	5.4	42
嶺南	12	12%	8.5	44	10	13%	7.1	44	8	11%	5.7	43
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資_図表 18-13 専門医数 (皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科)

二次医療圏	皮膚科				眼科				耳鼻咽喉科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	5,278		4.2	(2.1)	9,392		7.4	(3.2)	7,466		5.9	(2.6)
福井県	29	0.5%	3.7	48	56	0.6%	7.1	49	64	0.9%	8.2	59
福井・坂井	21	72%	5.2	55	44	79%	11.0	61	44	69%	11.0	69
奥越	2	7%	3.5	47	3	5%	5.3	43	3	5%	5.3	48
丹南	4	14%	2.1	41	6	11%	3.2	37	9	14%	4.8	46
嶺南	2	7%	1.4	37	3	5%	2.1	34	8	13%	5.7	49
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資_図表 18-14 専門医数 (精神科、外科、整形外科)

二次医療圏	精神科				外科				整形外科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	8,293		6.5	(3.5)	20,395		16.1	(7.2)	15,369		12.1	(4.5)
福井県	42	0.5%	5.4	47	146	0.7%	18.6	53	113	0.7%	14.4	55
福井・坂井	28	67%	7.0	51	103	71%	25.7	63	80	71%	19.9	67
奥越	2	5%	3.5	41	6	4%	10.6	42	6	5%	10.6	47
丹南	6	14%	3.2	41	19	13%	10.2	42	13	12%	7.0	39
嶺南	6	14%	4.3	44	18	12%	12.8	45	14	12%	10.0	45
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資_図表 18-15 専門医数(泌尿器科、脳神経外科、放射線科)

二次医療圏	泌尿器科				脳神経外科				放射線科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	5,711		4.5	(2.1)	6,376		5.0	(2.4)	5,300		4.2	(3.0)
福井県	44	0.8%	5.6	55	47	0.7%	6.0	54	53	1.0%	6.8	59
福井・坂井	33	75%	8.2	68	33	70%	8.2	63	46	87%	11.5	74
奥越	2	5%	3.5	45	2	4%	3.5	44	1	2%	1.8	42
丹南	4	9%	2.1	39	5	11%	2.7	40	2	4%	1.1	40
嶺南	5	11%	3.6	45	7	15%	5.0	50	4	8%	2.8	46
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資_図表 18-16 専門医数(麻酔科、病理、救急科)

二次医療圏	麻酔科				病理				救急科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	6,566		5.2	(3.1)	1,541		1.2	(0.9)	3,291		2.6	(1.7)
福井県	42	0.6%	5.4	51	4	0.3%	0.5	42	26	0.8%	3.3	54
福井・坂井	33	79%	8.2	60	4	100%	1.0	48	22	85%	5.5	67
奥越	1	2%	1.8	39	0	0%	0	37	0	0%	0	35
丹南	2	5%	1.1	37	0	0%	0	37	2	8%	1.1	41
嶺南	6	14%	4.3	47	0	0%	0	37	2	8%	1.4	43
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資_図表 18-17 専門医数(形成外科、リハビリテーション科)

二次医療圏	形成外科				リハビリテーション科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,984		1.6	(1.2)	2,370		1.9	(1.3)
福井県	8	0.4%	1.0	46	14	0.6%	1.8	49
福井・坂井	8	100%	2.0	54	11	79%	2.7	57
奥越	0	0%	0	37	0	0%	0	36
丹南	0	0%	0	37	3	21%	1.6	48
嶺南	0	0%	0	37	0	0%	0	36
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月							

18. 福井県（2016年版）

資_図表 18-18 看護師数（総数、病院看護師数、診療所看護師数）

二次医療圏	総看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病院看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	診療所看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,100,601		869	(289)	903,500		713	(241)	197,102		156	(74)
福井県	7,892	0.7%	1,006	55	6,440	0.7%	821	54	1,452	0.7%	185	54
福井・坂井	5,078	64%	1,265	64	4,197	65%	1,046	64	881	61%	219	59
奥越	342	4%	602	41	252	4%	443	39	90	6%	159	50
丹南	1,302	16%	699	44	1,004	16%	539	43	298	20%	160	51
嶺南	1,171	15%	834	49	988	15%	704	50	183	13%	130	47
出典	病院看護師数と診療所看護師数の合計				平成26年病院報告 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

資_図表 18-19 総療法士数と薬剤師数

二次医療圏	総療法士数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	薬剤師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	119,431		94	(52)	288,151		227	(98)
福井県	917	0.8%	117	54	1,453	0.5%	185	46
福井・坂井	568	62%	142	59	957	66%	238	51
奥越	43	5%	76	46	79	5%	139	41
丹南	188	21%	101	51	214	15%	115	38
嶺南	117	13%	84	48	203	14%	145	41
出典	平成26年病院報告 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月			

資_図表 18-20 在宅医療施設数（在宅療養支援診療所、在宅療養支援病院、訪問看護ステーション）

二次医療圏	在宅療養支援診療所	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	在宅療養支援病院	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	訪問看護ステーション	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	14,679		0.9	(0.5)	1,120		0.1	(0.1)	9,602		0.6	(0.2)
福井県	56	0.4%	0.5	41	7	0.6%	0.1	49	89	0.9%	0.8	60
福井・坂井	35	63%	0.6	44	3	43%	0.1	48	42	47%	0.7	58
奥越	5	9%	0.5	41	2	29%	0.2	68	6	7%	0.6	49
丹南	11	20%	0.4	39	2	29%	0.1	51	20	22%	0.7	58
嶺南	5	9%	0.2	36	0	0%	0	39	21	24%	1.0	72
出典	届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成28年5月				届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成28年5月				介護サービス情報公表システム 厚生労働省 平成28年5月			

資_図表 18-21 総高齢者施設・住宅定員数、介護保険施設定員(病床)数、高齢者住宅定員数

二次医療圏	総高齢者施設・住宅定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護保険施設定員 (病床)数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	高齢者住宅定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,633,619		99	(17)	983,880		60	(13)	649,739		39	(15)
福井県	12,085	0.7%	103	52	8,559	0.9%	73	61	3,526	0.5%	30	44
福井・坂井	6,443	53%	112	58	4,167	49%	72	60	2,276	65%	40	50
奥越	1,062	9%	99	50	906	11%	84	69	156	4%	15	33
丹南	2,710	22%	99	50	1,948	23%	71	59	762	22%	28	42
嶺南	1,870	15%	87	43	1,538	18%	72	60	332	9%	15	34
出典	介護保険施設定員(病床)数と高齢者住宅定員数の合計				老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数の合計				有料老人ホーム、軽費ホーム、グループホーム、サ高住の合計			

資_図表 18-22 老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数

二次医療圏	老人保健施設(老健)定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	特別養護老人ホーム(特養)定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護療養病床数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	361,993		22	(5.7)	554,289		34	(10.0)	67,598		4.1	(4.1)
福井県	3,124	0.9%	27	58	4,827	0.9%	41	58	608	0.9%	5.2	53
福井・坂井	1,361	44%	24	53	2,577	53%	45	61	229	38%	4.0	50
奥越	366	12%	34	71	500	10%	46	63	40	7%	3.7	49
丹南	782	25%	29	61	955	20%	35	51	211	35%	7.7	59
嶺南	615	20%	29	62	795	16%	37	53	128	21%	6.0	55
出典	平成28年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 18-23 有料老人ホーム定員数、軽費ホーム定員数、グループホーム定員数

二次医療圏	有料老人ホーム	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	軽費ホーム	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	グループホーム	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	223,346		13.6	(10.3)	22,728		1.4	(2.1)	191,184		11.6	(5.6)
福井県	446	0.2%	3.8	41	326	1.4%	2.8	57	1,100	0.6%	9.4	46
福井・坂井	340	76%	5.9	43	246	75%	4.3	64	576	52%	10.0	47
奥越	0	0%	0	37	0	0%	0	43	87	8%	8.1	44
丹南	106	24%	3.9	41	80	25%	2.9	57	234	21%	8.5	45
嶺南	0	0%	0	37	0	0%	0	43	203	18%	9.5	46
出典	平成28年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

18. 福井県（2016年版）

資_図表 18-24 サービス付き高齢者専用賃貸住宅（サ高住）定員数

二次医療圏	サ高住（全施設）				サ高住（特定施設）				サ高住（非特定施設）			
	サ高住 （全施設）	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	サ高住 （特定 施設）	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	サ高住 （非特定 施設）	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	212,481		12.9	(6.7)	13,027		0.8	(1.6)	199,454		12.1	(6.3)
福井県	1,654	0.8%	14.1	52	258	2.0%	2.2	59	1,396	0.7%	11.9	50
福井・坂井	1,114	67%	19.4	60	166	64%	2.9	63	948	68%	16.5	57
奥越	69	4%	6.4	40	0	0%	0	45	69	5%	6.4	41
丹南	342	21%	12.5	49	92	36%	3.4	66	250	18%	9.1	45
嶺南	129	8%	6.0	40	0	0%	0	45	129	9%	6.0	40
出典	サ高住(特定施設)とサ高住(非特定施設)の合計				平成28年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの				平成28年4月 国土交通省・厚生労働省 サービス付き高齢者向け住宅 情報提供システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの			

資_図表 18-25 介護サービス従事看護師数（介護施設、訪問看護）（常勤換算）

二次医療圏	介護サービス従事看護師数				看護師数（施設）				看護師数（訪問）			
	介護サー ビス従事 看護師数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	看護師数 （施設）	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	看護師数 （訪問）	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	160,468		9.7	(2.4)	118,281		7.2	(2.2)	42,186		2.6	(0.8)
福井県	1,320	0.8%	11.3	56	946	0.8%	8.1	54	374	0.9%	3.2	57
福井・坂井	664	50%	11.5	58	474	50%	8.2	55	190	51%	3.3	59
奥越	113	9%	10.5	53	86	9%	8.0	54	27	7%	2.5	49
丹南	301	23%	11.0	55	234	25%	8.6	56	66	18%	2.4	48
嶺南	242	18%	11.3	57	151	16%	7.1	49	91	24%	4.3	70
出典	平成28年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 18-26 介護サービス従事介護職員数（介護施設等、在宅介護）（常勤換算）

二次医療圏	介護サービス従事介護職員数				介護職員数（介護施設等）				介護職員数（在宅）			
	介護サー ビス従事 介護職員 数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員 数 （介護施設 等）	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員 数 （在宅）	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,482,791		90	(12.3)	1,259,191		77	(11.5)	223,600		13.6	(5.5)
福井県	11,058	0.7%	94	54	10,116	0.8%	86	59	942	0.4%	8.0	40
福井・坂井	5,596	51%	97	56	5,182	51%	90	62	414	44%	7.2	38
奥越	948	9%	88	48	868	9%	81	54	81	9%	7.5	39
丹南	2,503	23%	91	51	2,318	23%	85	57	184	20%	6.7	38
嶺南	2,011	18%	94	53	1,748	17%	82	54	263	28%	12.3	48
出典	平成28年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 18-27 在宅医療・介護サービス利用者数(月間)

二次医療圏	在宅医療 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問看護 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問介護 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,072,285		65	(31)	412,167		25	(11)	1,493,642		91	(31)
福井県	3,735	0.3%	32	39	3,614	0.9%	31	55	6,419	0.4%	55	38
福井・坂井	2,172	58%	38	41	1,389	38%	24	49	3,000	47%	52	38
奥越	353	9%	33	39	239	7%	22	47	588	9%	55	38
丹南	721	19%	26	37	857	24%	31	56	1,162	18%	42	34
嶺南	489	13%	23	36	1,129	31%	53	76	1,669	26%	78	46
出典	平成28年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 18-28 総人口の推移と医療需要の増減

二次医療圏	地域タイプ	総人口(2005→2015→2025)					医療需要推移 (2005→2015→2025)		
		2005年	2015年 (推計)	2005→ 15年 増減率	2025年 (推計)	2005→ 25年 増減率	2005→ 2015医療 点数増減 率	2015→ 2025医療 点数増減 率	2005→ 2025医療 点数増減 率
全国		127,767,994	126,660,501	-1%	120,699,960	-6%	13%	5%	18%
福井県		821,592	784,800	-4%	731,030	-11%	7%	2%	9%
福井・坂井	地方都市型	413,307	401,413	-3%	377,935	-9%	10%	3%	14%
奥越	過疎地域型	64,804	56,816	-12%	49,295	-24%	-2%	-5%	-6%
丹南	過疎地域型	194,247	186,151	-4%	174,588	-10%	6%	2%	8%
嶺南	過疎地域型	149,234	140,420	-6%	129,212	-13%	4%	0%	3%
出典	<人口(2005年)>平成17年国勢調査 都道府県・市区町村別統計表(男女別人口、年齢(3区分)・割合、就業者数、居間人口など) <人口(2015年、2025年)>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成25年3月								

資_図表 18-29 病院数の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年 推計値
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	
全国	9,077	7.1	(3.9)	8,493	6.7	(4.1)	-584	-6%	7,882
福井県	88	10.7	59	70	8.9	55	-18	-20%	51
福井・坂井	44	10.6	59	35	8.7	55	-9	-20%	25
奥越	7	10.8	60	6	10.6	59	-1	-14%	5
丹南	23	11.8	62	18	9.7	57	-5	-22%	13
嶺南	14	9.4	56	11	7.8	53	-3	-21%	8
出典	<病院数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <病院数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月								

18. 福井県（2016年版）

資_図表 18-30 診療所数の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	推計値
全国	97,051	76	(20)	100,461	79	(19)	3,410	4%	104,229
福井県	564	69	46	582	74	47	18	3%	602
福井・坂井	316	76	50	337	84	52	21	7%	360
奥越	38	59	41	34	60	40	-4	-11%	30
丹南	110	57	40	109	59	39	-1	-1%	108
嶺南	100	67	46	102	73	47	2	2%	104
出典	<診療所数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <診療所数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月								

資_図表 18-31 医師数の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	推計値
全国	270,371	212	(84)	311,205	246	(98)	40,834	15%	356,135
福井県	1,752	213	50	1,982	253	51	230	13%	2,236
福井・坂井	1,193	289	59	1,429	356	61	236	20%	1,689
奥越	75	116	39	70	123	38	-5	-7%	65
丹南	237	122	39	238	128	38	1	0%	239
嶺南	247	166	45	245	174	43	-2	-1%	243
出典	<総医師数2004年>平成16年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成16年12月 <総医師数2014年>平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月								

資_図表 18-32 総病床数(精神科を含む)の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年
	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	推計値
全国	1,812,554	142	(56)	1,680,625	133	(57)	-131,929	-7%	1,535,514
福井県	14,242	173	56	12,431	158	55	-1,811	-13%	10,439
福井・坂井	8,314	201	61	7,278	181	59	-1,036	-12%	6,138
奥越	849	131	48	679	120	48	-170	-20%	492
丹南	2,748	141	50	2,308	124	48	-440	-16%	1,824
嶺南	2,331	156	53	2,166	154	54	-165	-7%	1,985
出典	<総病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <総病床数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月								

資_図表 18-33 一般病床数(病院+診療所)の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年(推計値)	
	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	数	人口 1万 当り
全国	1,068,821	84	(28)	995,170	79	(27)	-73,651	-7%	914,162	76
福井県	8,810	107	58	7,557	96	56	-1,253	-14%	6,179	85
福井・坂井	5,428	131	67	4,843	121	65	-585	-11%	4,200	111
奥越	540	83	50	435	77	49	-105	-19%	320	65
丹南	1,440	74	47	1,173	63	44	-267	-19%	879	50
嶺南	1,402	94	54	1,106	79	50	-296	-21%	780	60
出典	<一般病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <一般病床数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月									

資_図表 18-34 療養病床数(病院+診療所)の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年(推計値)	
	数	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	数	75歳以上 1,000人 当り
全国	373,823	32	(18)	339,554	21	(12)	-34,269	-9%	301,883	14
福井県	2,883	31	49	2,511	21	51	-372	-13%	2,103	15
福井・坂井	1,469	34	51	1,119	19	49	-350	-24%	734	10
奥越	174	19	42	109	10	41	-65	-37%	38	3
丹南	884	40	54	741	27	56	-143	-16%	584	18
嶺南	356	20	43	542	25	54	186	52%	747	30
出典	<一般病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <一般病床数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月									

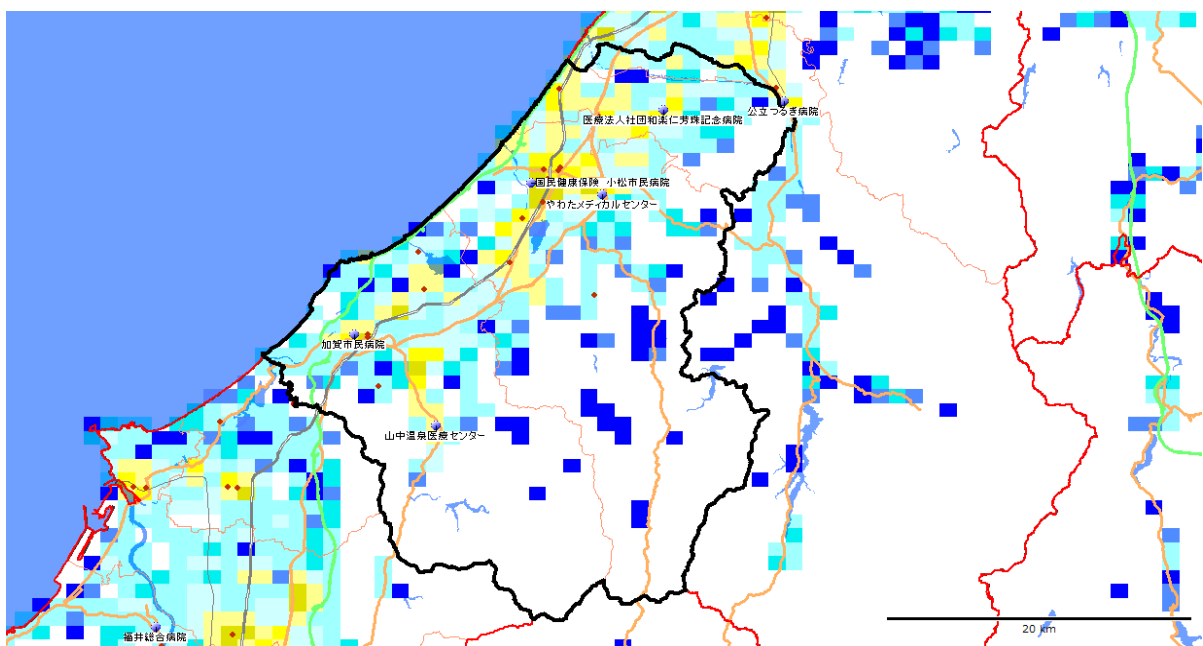
資_図表 18-35 【補足】 市町村国民健康保険 診療種別、1人あたり実績医療費⁹

二次医療圏	医療費総計 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差指数	入院費			入院外+ 調剤		
				(単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差指数	(単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差指数
全国	327	(42)	1.000	126	(29)	1.000	177	(17)	1.000
福井県	353	56	1.022	149	58	1.118	184	54	0.982
福井・坂井	355	56	1.029	147	57	1.106	186	55	0.998
奥越	384	63	1.060	155	60	1.105	211	70	1.076
丹南	342	53	0.984	147	57	1.095	175	49	0.932
嶺南	350	55	1.017	153	60	1.156	178	50	0.952
出典	平成26年度医療費の地域差分析 厚生労働省								

18-1. ふくい さかい 福井・坂井医療圏

構成市区町村¹⁰ [福井市](#) [あわら市](#) [坂井市](#) [永平寺町](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



Ⅲ群
一般病院

(福井・坂井医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

***人口、面積など：** 福井・坂井(福井市)は、総人口約401千人(2015年推計)、面積957km²、人口密度は419人/km²の地方都市型二次医療圏である。

***人口の将来予測：** 福井・坂井の総人口は2025年に378千人へと減少し(2015年比-6%)、2040年に331千人へと減少する(2025年比-12%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の58千人が、2025年にかけて73千人へと増加し(2015年比+26%)、2040年には76千人へと増加する(2025年比+4%)ことが予想される。

***医療費と介護給付費：** 福井・坂井の一人当たり医療費(国保)は345千円(偏差値56)、介護給付費は286千円(偏差値59)であり、医療費、介護給付費ともに高い。

【医療の現状】

***入院医療の充実度：** 福井・坂井の一人当たり急性期医療密度指数²は1.47、一人当たり慢性期医療密度指数²は0.56で、急性期の医療は充実しているが、慢性期の医療はかなり少ない。

***医師・看護師の現状：** 総医師数³の偏差値が61(病院医師数66、診療所医師数50)と、総医師数は多く、病院医師数は非常に多く、診療所医師数は全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は64と多い。

***一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は64で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は62と多い。福井・坂井には、年間全身麻酔件数が2000例以上の福井県済生会病院(Ⅲ群)、福井県立病院(Ⅲ群・救命)、福井大学医学部附属病院(I群)、1000例以上の福井赤十字病院(Ⅲ群)、500例以上の福井総合病院(Ⅲ群)がある。

***療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は50と療養病床数は全国平均レベルである。

***リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値59と多く、回復期病床数は偏差値52と全国平均レベルである。

***精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は52で精神病床数は全国平均レベルである。

***診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は52で診療所数は全国平均レベルである。

【介護施設や在宅ケアの現状】

***介護施設の現状：** 福井・坂井の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、6443人(75歳以上1000人当たりの偏差値58)と全国平均レベルを上回る。そのうち、介護保険施設の定員が4167床(偏差値60)、高齢者住宅等が2276床(偏差値50)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回り、高齢者住宅等は全国平均レベルである。また、介護職員(介護施設等)の合計は、5182人(75歳以上1000人当たりの偏差値62)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設53、特別養護老人ホーム61、介護療養型医療施設50、有料老人ホーム43、軽費ホーム64、グループホーム47、サ高住60である。

***在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値44と少なく、在宅療養支援病院は偏差値48と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値58と多い。介護職員(在宅)の合計は、414人(75歳以上1000人当たりの偏差値38)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

***介護の2040年の需要予測：** 2040年の介護充足度指数⁴は-12%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

福井・坂井医療圏の総人口は、2005年413307人が、2015年に401413人と3%減少し、2025年の人口が377935人と予測され、2005年→2025年の間に9%程度の減少が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に10%増加し、2015年から2025年にかけて3%程度の増加が予測される。

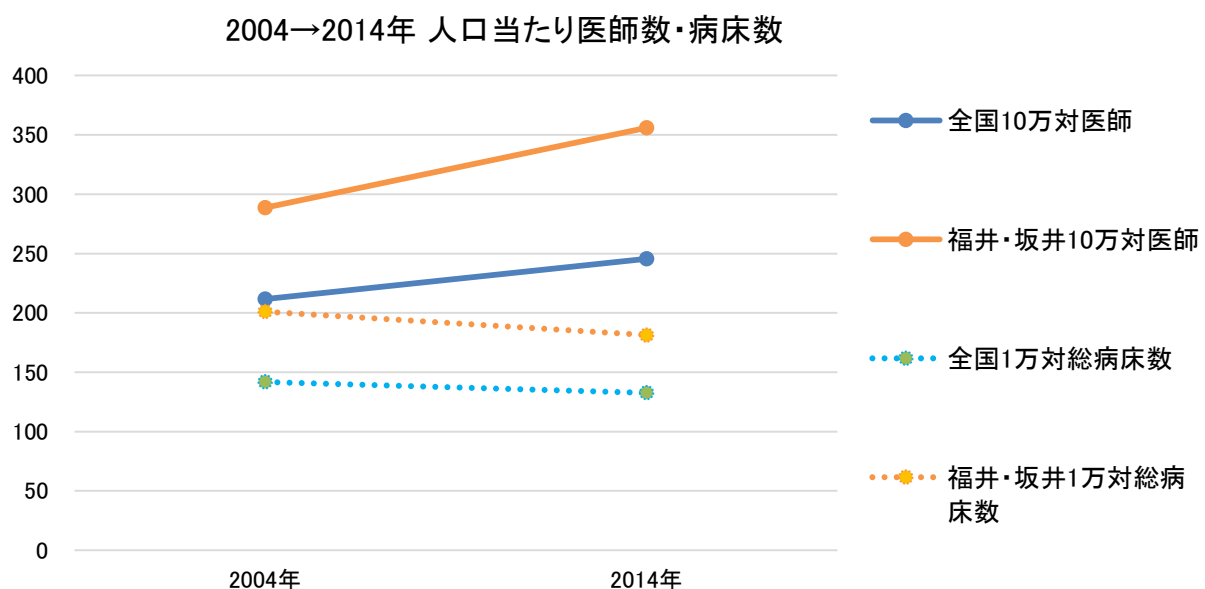
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が44(人口10万人当たり10.6病院(全国平均7.1)偏差値59)であったが、2014年に35(人口10万人当たり8.7病院(全国平均6.7)偏差値55)となり、10年間で9病院が減少した。

2004年の診療所数が316(人口10万人当たり76診療所(全国平均76)偏差値50)であったが、2014年に337(人口10万人当たり84診療所(全国平均79)偏差値52)と、21診療所が増加した。

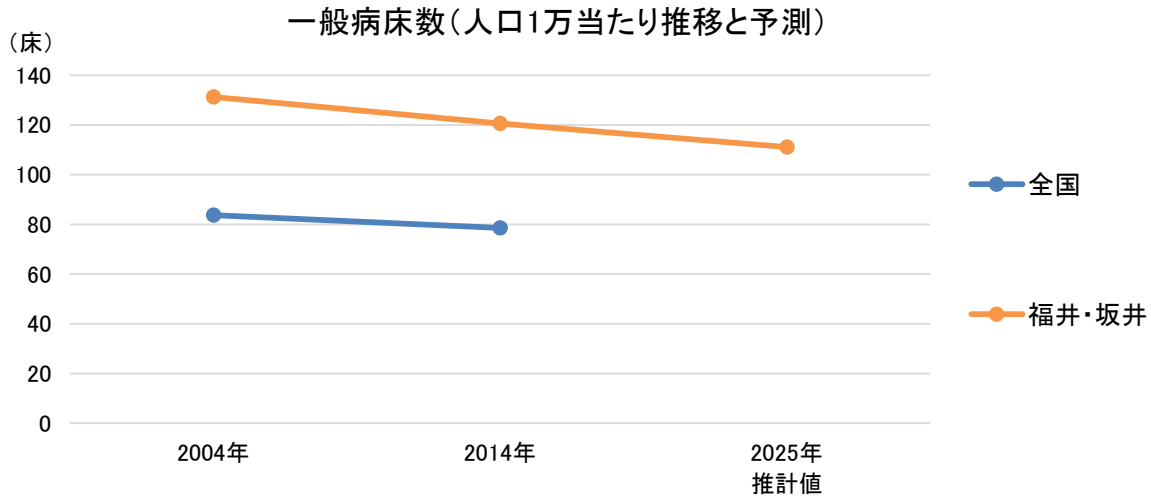
2004年の総病床数が8314床(人口1万人当たり201(全国平均142)偏差値61)であったが、2014年に7278床(人口1万人当たり181(全国平均133)偏差値59)と、1036床の減少、率にして12%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての医師数³が1193人(人口10万人当たり289人(全国平均212人)偏差値59)であったが、2014年に1429人(人口10万人当たり356人(全国平均246人)偏差値61)と、236人の増加、率にして20%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



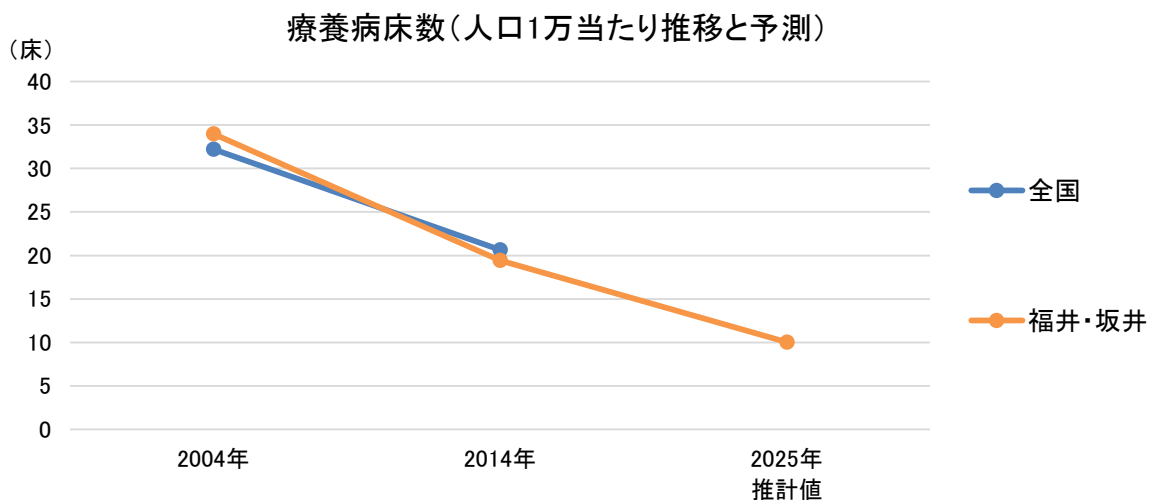
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が5428床(人口1万人当たり131(全国平均84)偏差値67)であったが、2014年に4843床(人口1万人当たり121(全国平均79)偏差値65)と、585床の減少、率にして11%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には4200床(2025年の推計人口1万人当たり111)になることが予想される。



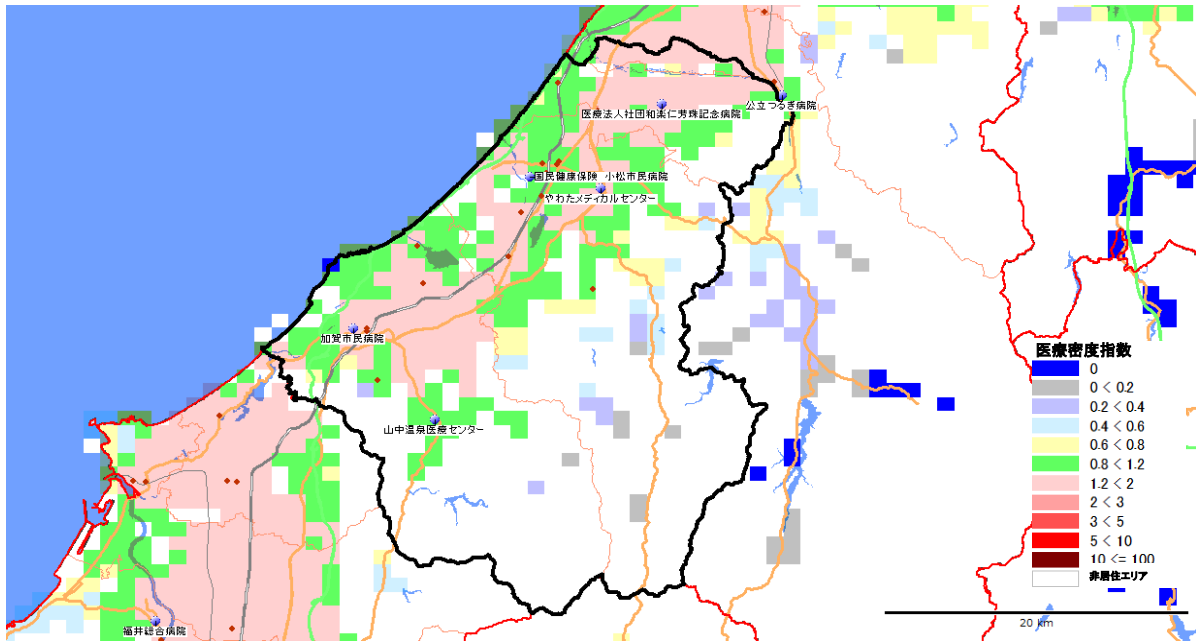
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が1469床(75歳以上1000人当たり34(全国平均32)偏差値51)であったが、2014年に1119床(75歳以上1000人当たり19(全国平均21)偏差値49)と、350床の減少、率にして24%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には734床(2025年の推計75歳以上1000人当たり10)になることが予想される。

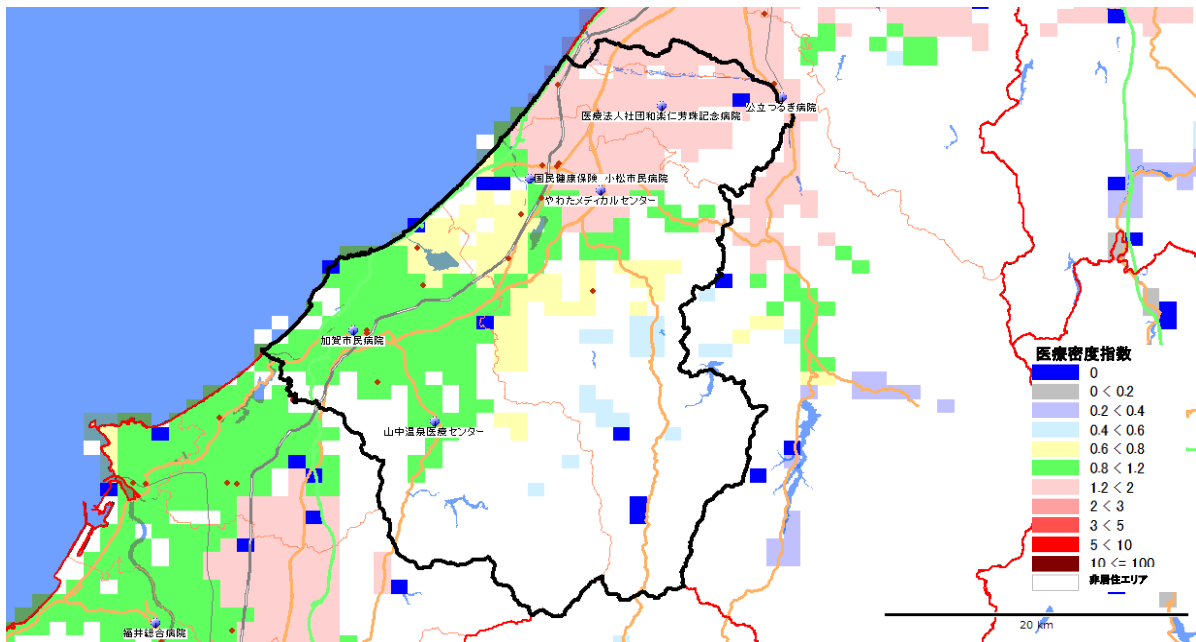


3. 医療密度⁵

図表18-1-1 急性期医療密度指数マップ



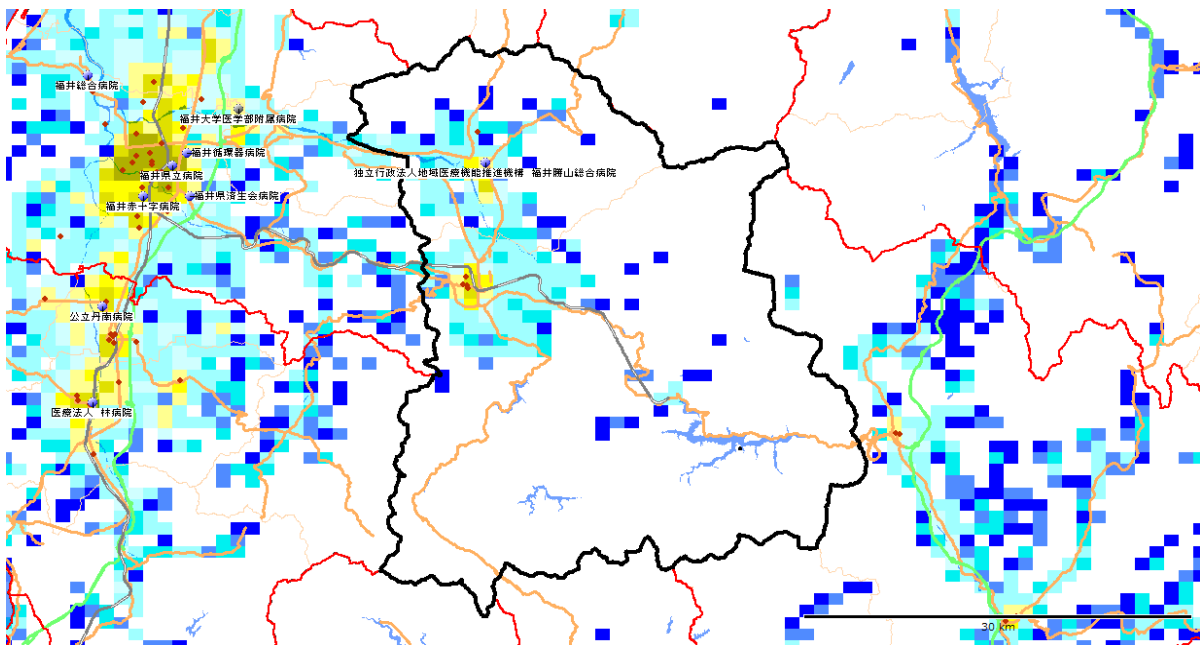
図表18-1-2 慢性期医療密度指数マップ



18-2. おくえつ 奥越医療圏

構成市区町村¹⁰ [大野市](#) [勝山市](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



Ⅲ群

一般病院

（奥越医療圏） 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

（参照：資料編の図表）

【地域の概要】

***人口、面積など：** 奥越(大野市)は、総人口約57千人(2015年推計)、面積1126km²、人口密度は50人/km²の過疎地域型二次医療圏である。

***人口の将来予測：** 奥越の総人口は2025年に49千人へと減少し(2015年比-14%)、2040年に38千人へと減少する(2025年比-22%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の11千人が、2025年にかけて12千人へと増加し(2015年比+9%)、2040年には11千人へと減少する(2025年比-8%)ことが予想される。

***医療費と介護給付費：** 奥越の一人当たり医療費(国保)は372千円(偏差値63)、介護給付費は311千円(偏差値66)であり、医療費は高く、介護給付費は非常に高い。

【医療の現状】

***入院医療の充実度：** 奥越の一人当たり急性期医療密度指数²は0.82、一人当たり慢性期医療密度指数²は1.07で、急性期の医療も慢性期の医療も全国平均レベルである。

***医師・看護師の現状：** 総医師数³の偏差値が40(病院医師数42、診療所医師数39)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は41と少ない。

***一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は42で、一般病床は少ない。全身麻酔数の偏差値は36と少ない。奥越には、年間全身麻酔件数が500例以上の病院はない。

***療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は47と療養病床数はやや少ない。

***リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値46とやや少なく、回復期病床数は0である。

***精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は49で精神病床数は全国平均レベルである。

***診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は40で診療所数は少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

***介護施設の現状：** 奥越の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1062人(75歳以上1000人当たりの偏差値50)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が906床(偏差値69)、高齢者住宅等が156床(偏差値33)である。介護保険施設は全国平均レベルを大きく上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを大きく下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、868人(75歳以上1000人当たりの偏差値54)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設71、特別養護老人ホーム63、介護療養型医療施設49、有料老人ホームなし(偏差値37)、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム44、サ高住40である。

***在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値41と少なく、在宅療養支援病院は偏差値68と非常に多い。また、訪問看護ステーションは偏差値49と全国平均レベルである。介護職員(在宅)の合計は、81人(75歳以上1000人当たりの偏差値39)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

***介護の2040年の需要予測：** 2040年の介護充足度指数⁴は+4%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

奥越医療圏の総人口は、2005年64804人が、2015年に56816人と12%減少し、2025年の人口が49295人と予測され、2005年→2025年の間に24%程度の減少が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に2%減少し、2015年から2025年にかけて5%程度の減少が予測される。

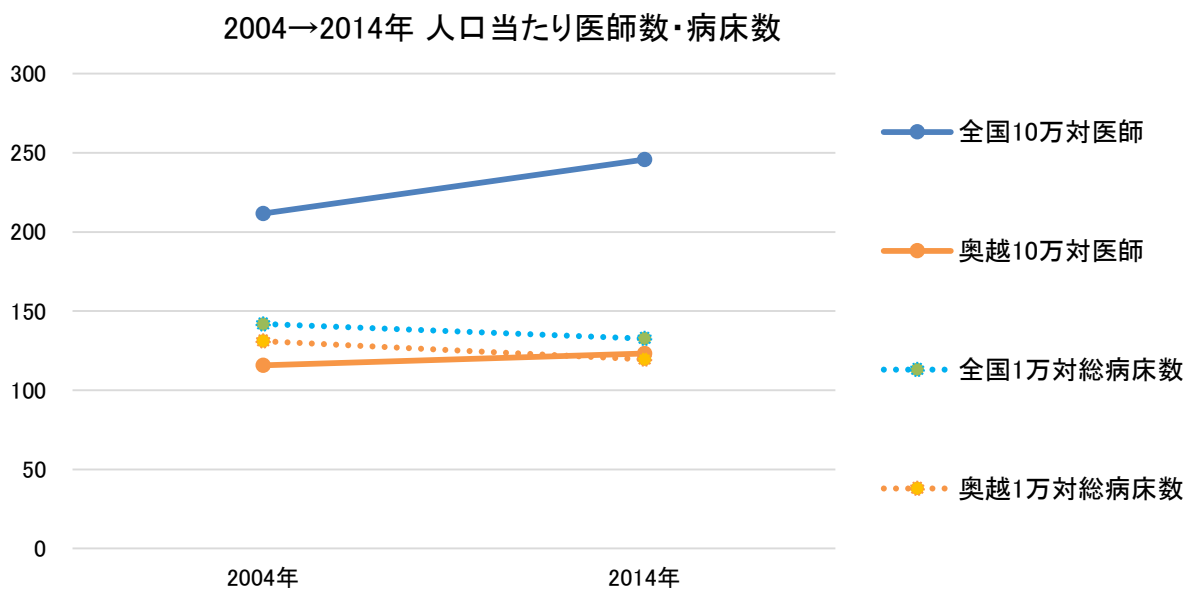
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が7(人口10万人当たり10.8病院(全国平均7.1)偏差値60)であったが、2014年に6(人口10万人当たり10.6病院(全国平均6.7)偏差値59)となり、10年間で1病院が減少した。

2004年の診療所数が38(人口10万人当たり59診療所(全国平均76)偏差値41)であったが、2014年に34(人口10万人当たり60診療所(全国平均79)偏差値40)と、4診療所が減少した。

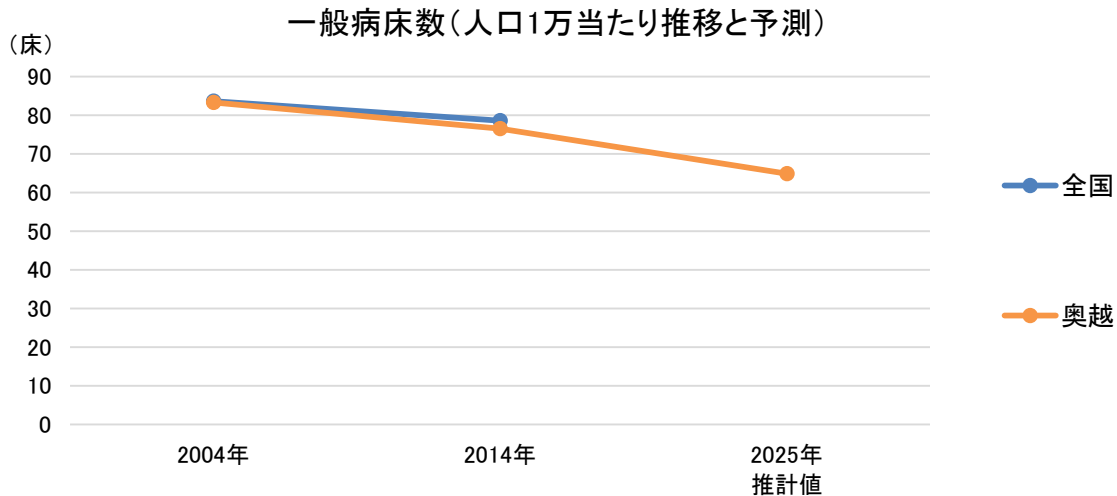
2004年の総病床数が849床(人口1万人当たり131(全国平均142)偏差値48)であったが、2014年に679床(人口1万人当たり120(全国平均133)偏差値48)と、170床の減少、率にして20%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての医師数³が75人(人口10万人当たり116人(全国平均212人)偏差値39)であったが、2014年に70人(人口10万人当たり123人(全国平均246人)偏差値38)と、5人の減少、率にして7%の減少(全国平均15%の増加)が見られた。



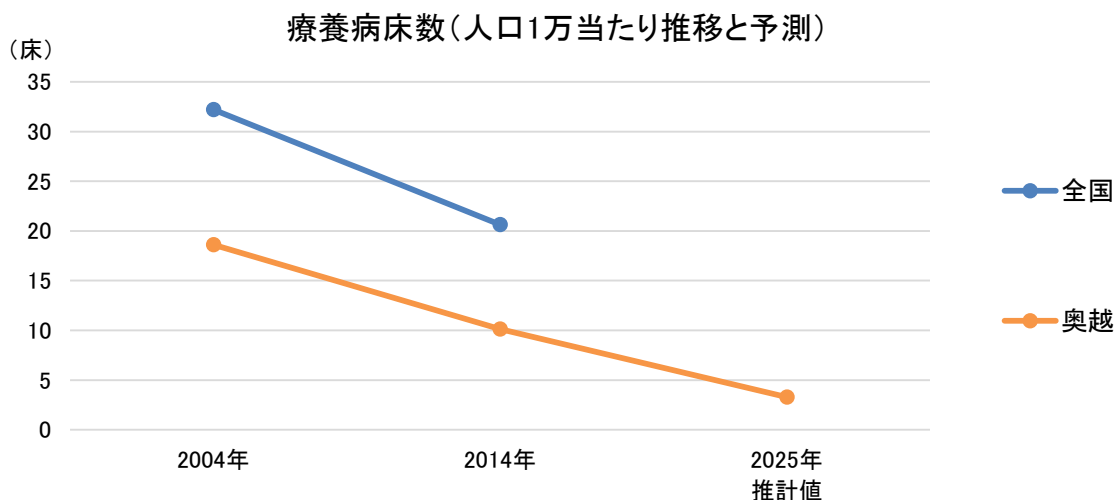
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が540床(人口1万人当たり83(全国平均84)偏差値50)であったが、2014年に435床(人口1万人当たり77(全国平均79)偏差値49)と、105床の減少、率にして19%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には320床(2025年の推計人口1万人当たり65)になることが予想される。



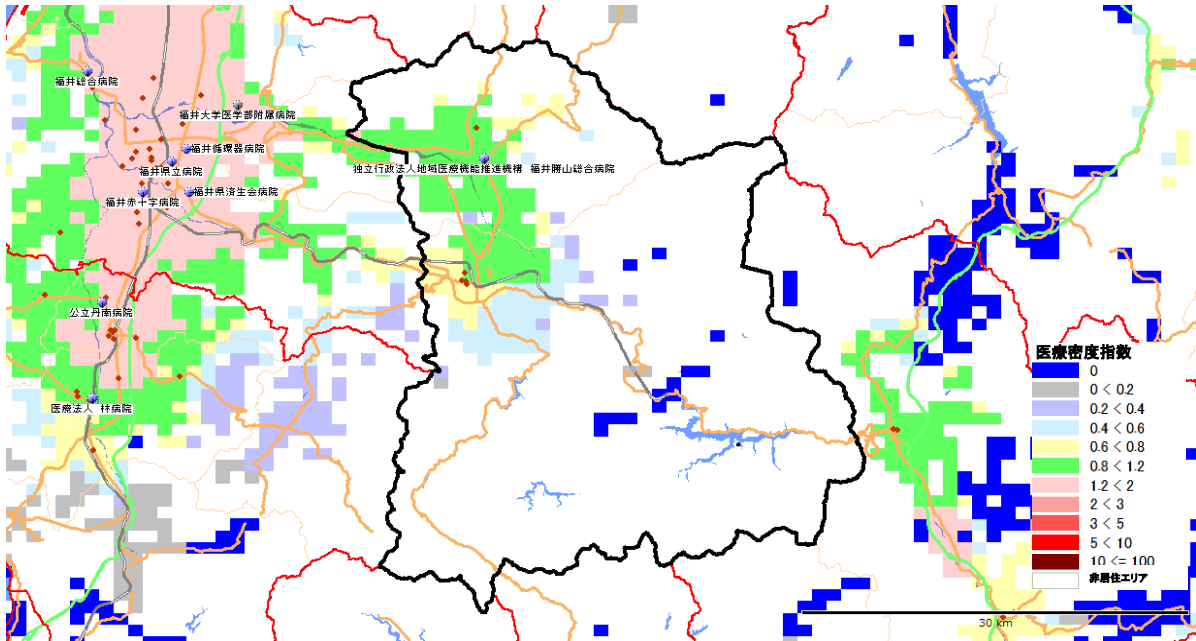
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が174床(75歳以上1000人当たり19(全国平均32)偏差値42)であったが、2014年に109床(75歳以上1000人当たり10(全国平均21)偏差値41)と、65床の減少、率にして37%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には38床(2025年の推計75歳以上1000人当たり3)になることが予想される。

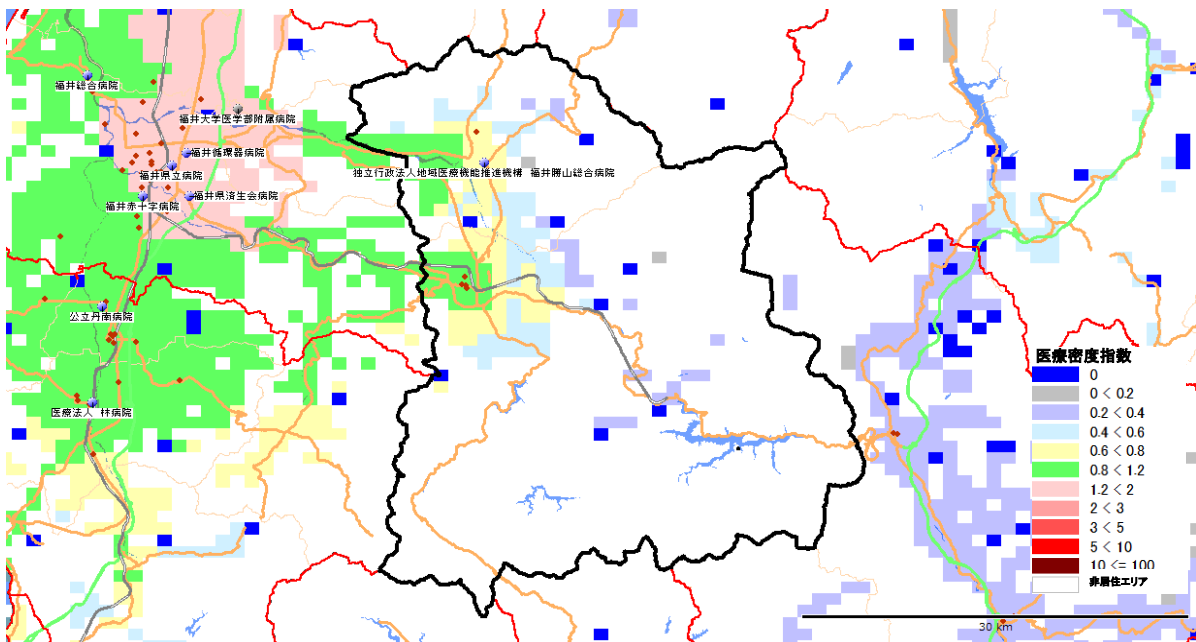


3. 医療密度⁵

図表18-2-1 急性期医療密度指数マップ



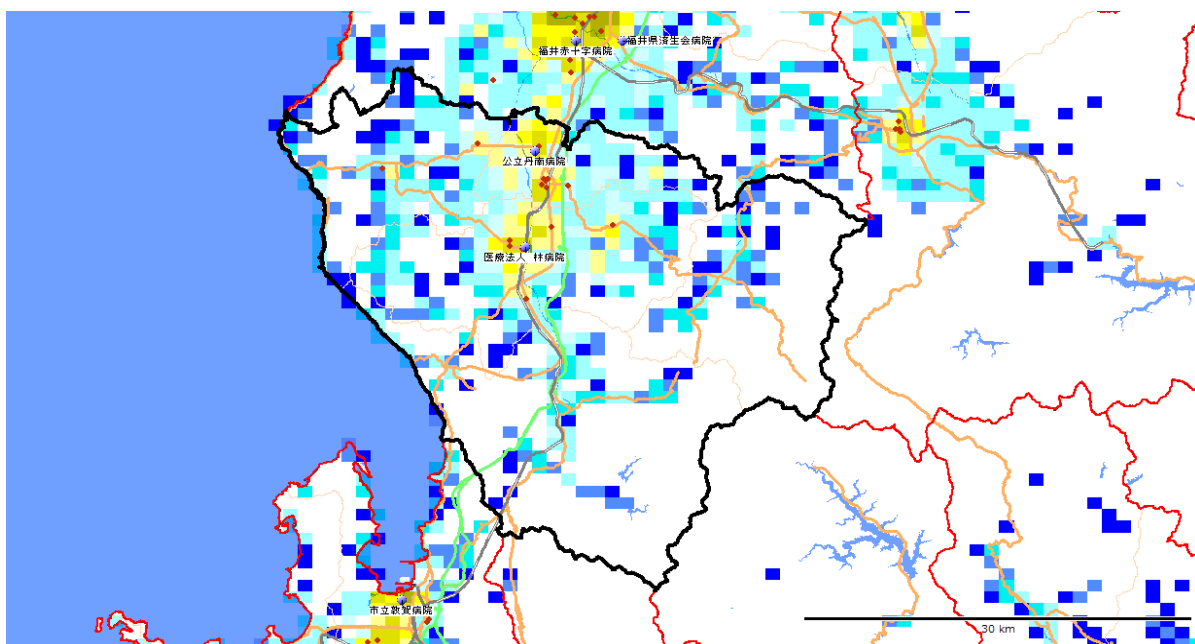
図表18-2-2 慢性期医療密度指数マップ



18-3. たんなん 丹南医療圏

構成市区町村¹⁰ [鯖江市](#) [越前市](#) [池田町](#) [南越前町](#)
[越前町](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



Ⅲ群

一般病院

(丹南医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 丹南(鯖江市)は、総人口約186千人(2015年推計)、面積1007km²、人口密度は185人/km²の過疎地域型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 丹南の総人口は2025年に175千人へと減少し(2015年比-6%)、2040年に153千人へと減少する(2025年比-13%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の27千人が、2025年にかけて33千人へと増加し(2015年比+22%)、2040年には34千人へと増加する(2025年比+3%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 丹南の一人当たり医療費(国保)は335千円(偏差値54)、介護給付費は280千円(偏差値57)であり、医療費はやや高く、介護給付費は高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 丹南の一人当たり急性期医療密度指数²は0.93、一人当たり慢性期医療密度指数²は0.84で、急性期の医療も慢性期の医療も全国平均レベルである。

*医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が37(病院医師数38、診療所医師数38)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は44と少ない。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は41で、一般病床は少ない。全身麻酔数の偏差値は35と少ない。丹南には、年間全身麻酔件数が500例以上の公立丹南病院(Ⅲ群)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は55と療養病床数はやや多い。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値51と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値47とやや少ない。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は47で精神病床数はやや少ない。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は39で診療所数は少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 丹南の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、2710人(75歳以上1000人当たりの偏差値50)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が1948床(偏差値59)、高齢者住宅等が762床(偏差値42)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、2318人(75歳以上1000人当たりの偏差値57)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設61、特別養護老人ホーム51、介護療養型医療施設59、有料老人ホーム41、軽費ホーム57、グループホーム45、サ高住49である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値39と少なく、在宅療養支援病院は偏差値51と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値58と多い。介護職員(在宅)の合計は、184人(75歳以上1000人当たりの偏差値38)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

*介護の2040年の需要予測： 2040年の介護充足度指数⁴は-12%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

丹南医療圏の総人口は、2005年194247人が、2015年に186151人と4%減少し、2025年の人口が174588人と予測され、2005年→2025年の間に10%程度の減少が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に6%増加し、2015年から2025年にかけて2%程度の増加が予測される。

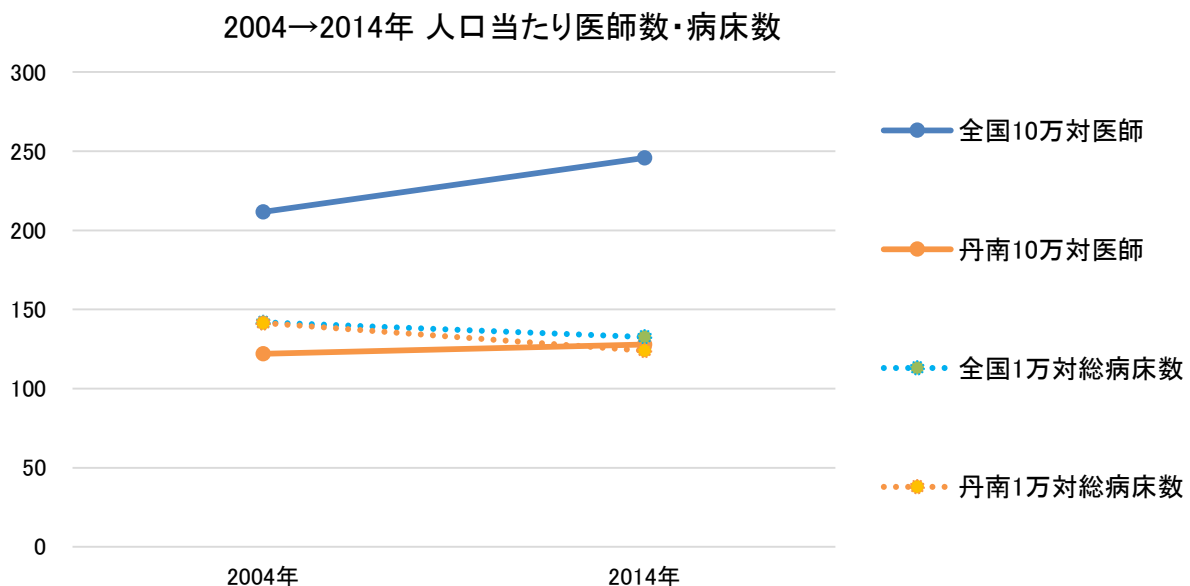
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が23(人口10万人当たり11.8病院(全国平均7.1)偏差値62)であったが、2014年に18(人口10万人当たり9.7病院(全国平均6.7)偏差値57)となり、10年間で5病院が減少した。

2004年の診療所数が110(人口10万人当たり57診療所(全国平均76)偏差値40)であったが、2014年に109(人口10万人当たり59診療所(全国平均79)偏差値39)と、1診療所が減少した。

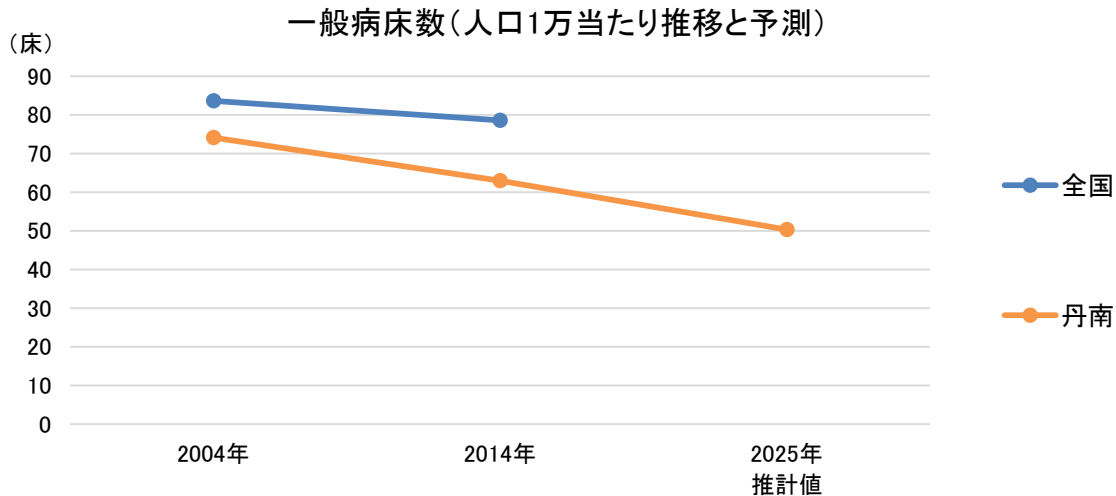
2004年の総病床数が2748床(人口1万人当たり141(全国平均142)偏差値50)であったが、2014年に2308床(人口1万人当たり124(全国平均133)偏差値48)と、440床の減少、率にして16%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての医師数³が237人(人口10万人当たり122人(全国平均212人)偏差値39)であったが、2014年に238人(人口10万人当たり128人(全国平均246人)偏差値38)と、1人の増加、率にして1%未満の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



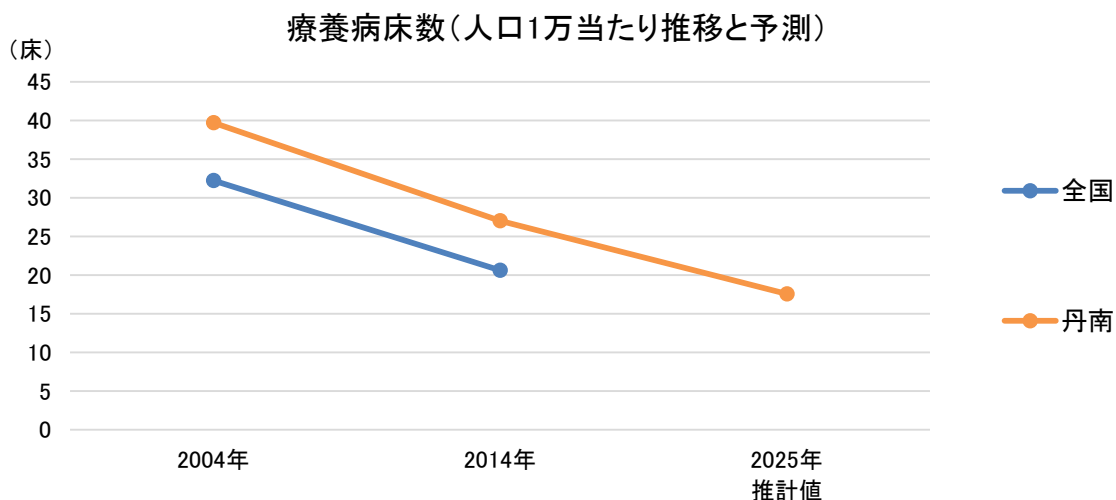
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が1440床(人口1万人当たり74(全国平均84)偏差値47)であったが、2014年に1173床(人口1万人当たり63(全国平均79)偏差値44)と、267床の減少、率にして19%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には879床(2025年の推計人口1万人当たり50)になることが予想される。



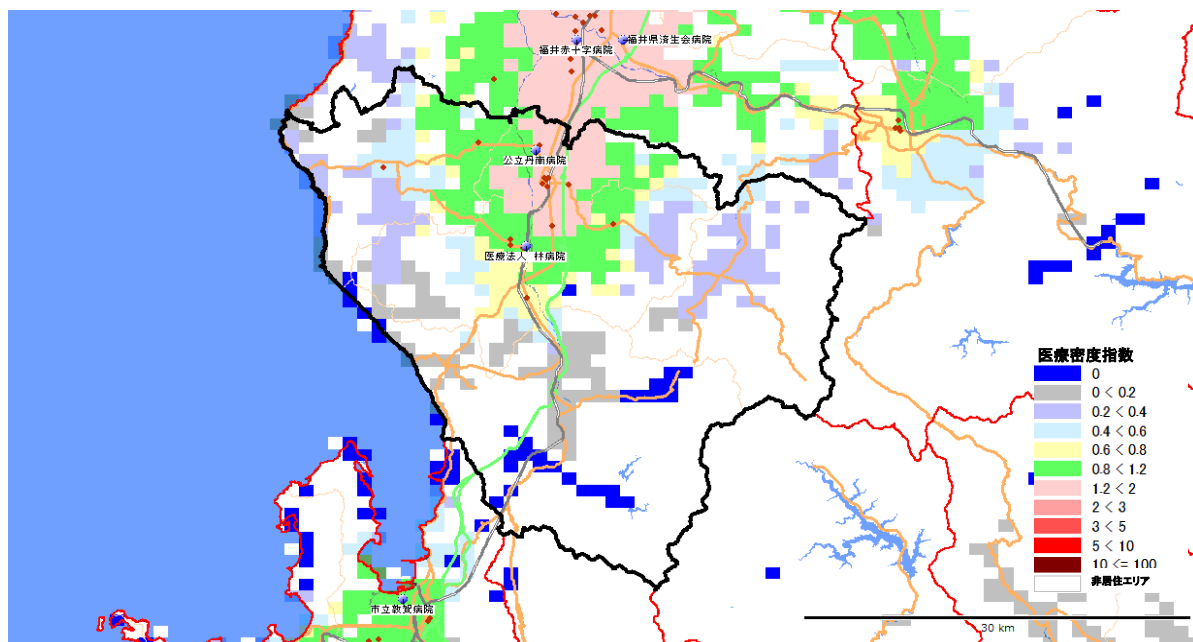
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が884床(75歳以上1000人当たり40(全国平均32)偏差値54)であったが、2014年に741床(75歳以上1000人当たり27(全国平均21)偏差値56)と、143床の減少、率にして16%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には584床(2025年の推計75歳以上1000人当たり18)になることが予想される。

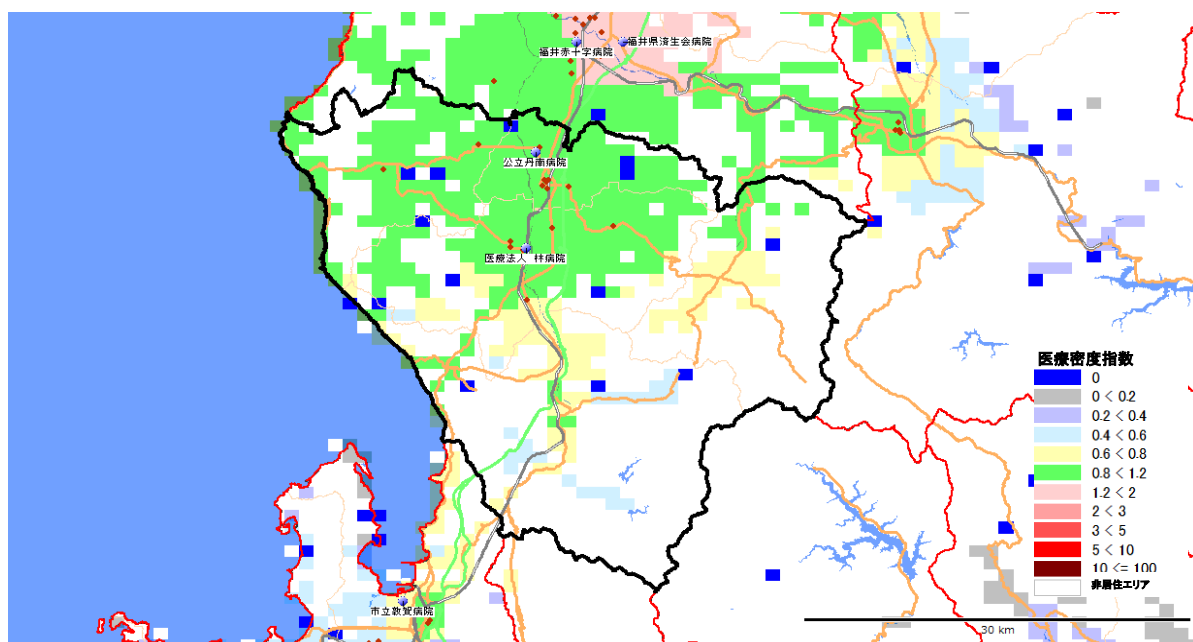


3. 医療密度⁵

図表18-3-1 急性期医療密度指数マップ



図表18-3-2 慢性期医療密度指数マップ



18-4. れいなん 嶺南医療圏

構成市区町村¹⁰

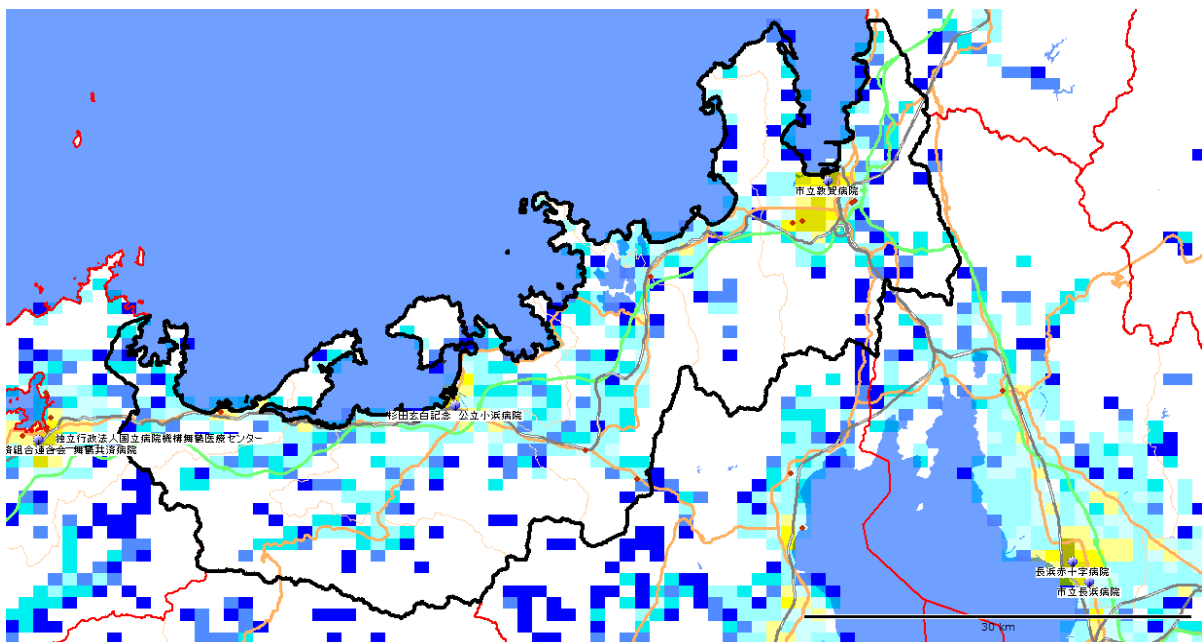
[敦賀市](#)
[おおい町](#)

[小浜市](#)
[若狭町](#)

[美浜町](#)

[高浜町](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



Ⅲ群

一般病院

（嶺南医療圏） 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

（参照：資料編の図表）

【地域の概要】

***人口、面積など：** 嶺南（敦賀市）は、総人口約140千人（2015年推計）、面積1099km²、人口密度は128人/km²の過疎地域型二次医療圏である。

***人口の将来予測：** 嶺南の総人口は2025年に129千人へと減少し（2015年比－8%）、2040年に110千人へと減少する（2025年比－15%）ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の21千人が、2025年にかけて25千人へと増加し（2015年比＋19%）、2040年には25千人とほぼ変わらない（2025年比±0%）ことが予想される。

***医療費と介護給付費：** 嶺南の一人当たり医療費（国保）は343千円（偏差値56）、介護給付費は290千円（偏差値60）であり、医療費、介護給付費ともに高い。

【医療の現状】

***入院医療の充実度：** 嶺南の一人当たり急性期医療密度指数²は0.75、一人当たり慢性期医療密度指数²は1.1で、急性期の医療は少ないが、慢性期の医療は全国平均レベルである。

***医師・看護師の現状：** 総医師数³の偏差値が43（病院医師数45、診療所医師数41）と、総医師数と診療所医師数は少ない。総看護師数の偏差値は49と全国平均レベルである。

***一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は51で、一般病床は全国平均レベルである。全身麻酔数の偏差値は39と少ない。嶺南には、年間全身麻酔件数が500例以上の病院はない。

***療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は56と療養病床数は多い。

***リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値48と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値44と少ない。

***精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は54で精神病床数はやや多い。

***診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は47で診療所数はやや少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

***介護施設の現状：** 嶺南の総高齢者施設・住宅定員数（介護療養病床含む）合計は、1870人（75歳以上1000人当たりの偏差値43）と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が1538床（偏差値60）、高齢者住宅等が332床（偏差値34）である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを大きく下回る。また、介護職員（介護施設等）の合計は、1748人（75歳以上1000人当たりの偏差値54）で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設62、特別養護老人ホーム53、介護療養型医療施設55、有料老人ホームなし（偏差値37）、軽費ホームなし（偏差値43）、グループホーム46、サ高住40である。

***在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値36と少なく、在宅療養支援病院は存在しない。また、訪問看護ステーションは偏差値72と非常に多い。介護職員（在宅）の合計は、263人（75歳以上1000人当たりの偏差値48）で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

***介護の2040年の需要予測：** 2040年の介護充足度指数⁴は－17%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

嶺南医療圏の総人口は、2005年149234人が、2015年に140420人と6%減少し、2025年の人口が129212人と予測され、2005年→2025年の間に13%程度の減少が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に4%増加し、2015年から2025年にかけてほぼ増減なしと予測される。

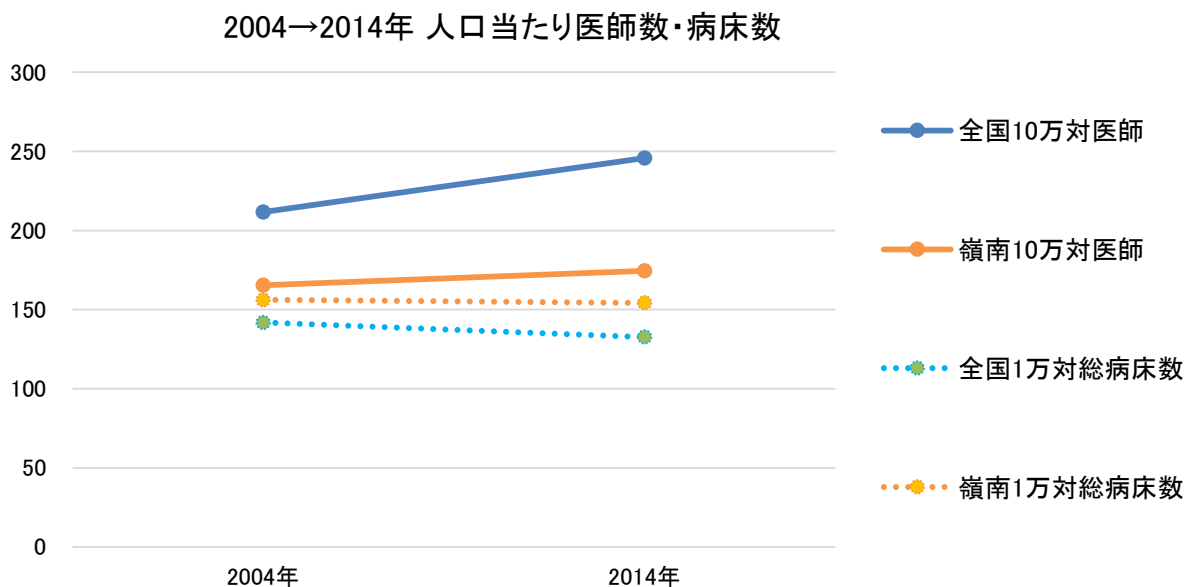
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が14(人口10万人当たり9.4病院(全国平均7.1)偏差値56)であったが、2014年に11(人口10万人当たり7.8病院(全国平均6.7)偏差値53)となり、10年間で3病院が減少した。

2004年の診療所数が100(人口10万人当たり67診療所(全国平均76)偏差値46)であったが、2014年に102(人口10万人当たり73診療所(全国平均79)偏差値47)と、2診療所が増加した。

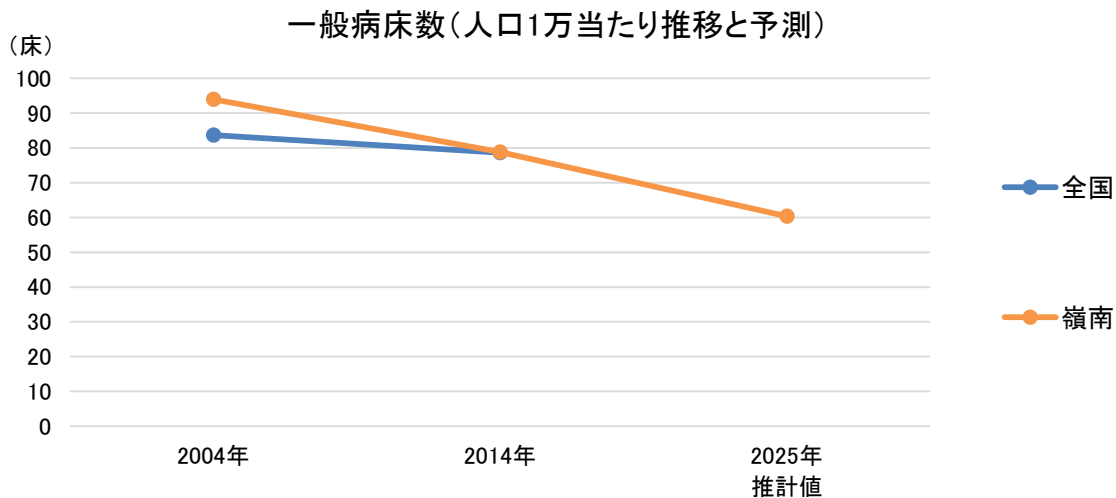
2004年の総病床数が2331床(人口1万人当たり156(全国平均142)偏差値53)であったが、2014年に2166床(人口1万人当たり154(全国平均133)偏差値54)と、165床の減少、率にして7%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての医師数³が247人(人口10万人当たり166人(全国平均212人)偏差値45)であったが、2014年に245人(人口10万人当たり174人(全国平均246人)偏差値43)と、2人の減少、率にして1%の減少(全国平均15%の増加)が見られた。



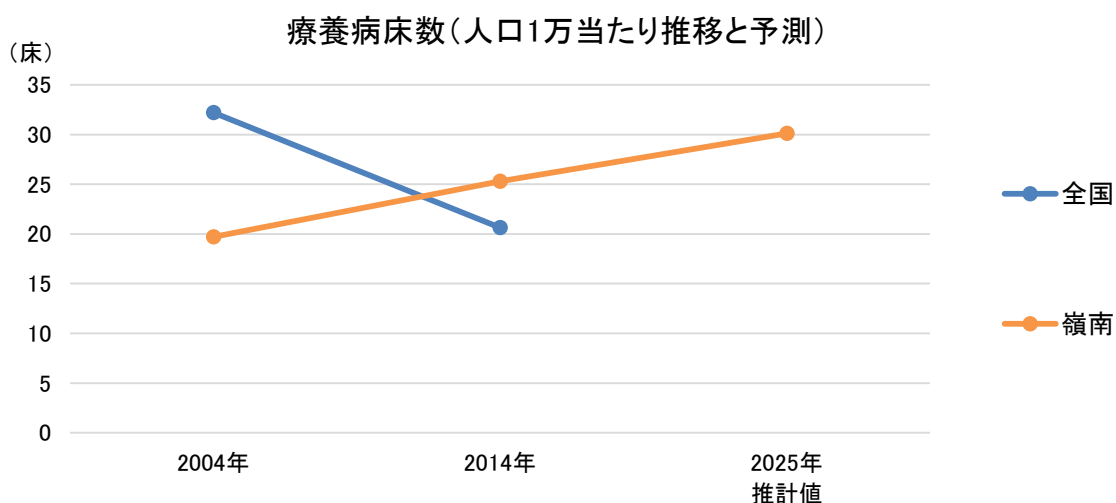
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が1402床(人口1万人当たり94(全国平均84)偏差値54)であったが、2014年に1106床(人口1万人当たり79(全国平均79)偏差値50)と、296床の減少、率にして21%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には780床(2025年の推計人口1万人当たり60)になることが予想される。



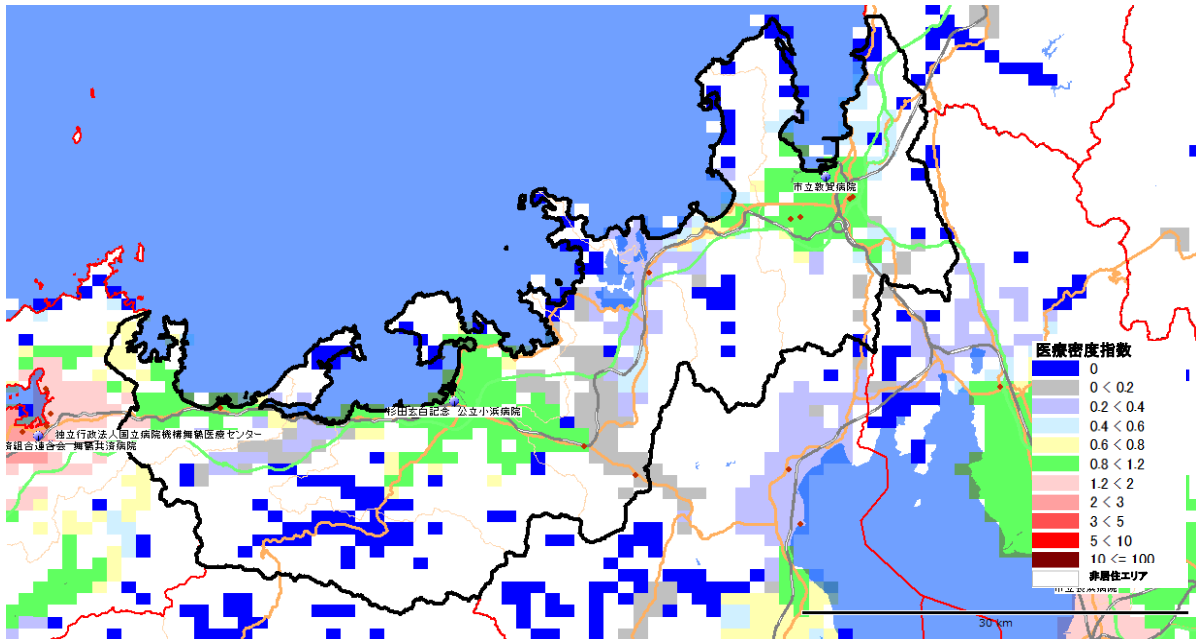
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が356床(75歳以上1000人当たり20(全国平均32)偏差値43)であったが、2014年に542床(75歳以上1000人当たり25(全国平均21)偏差値54)と、186床の増加、率にして52%の増加(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で増加が続くとすると2025年には747床(2025年の推計75歳以上1000人当たり30)になることが予想される。

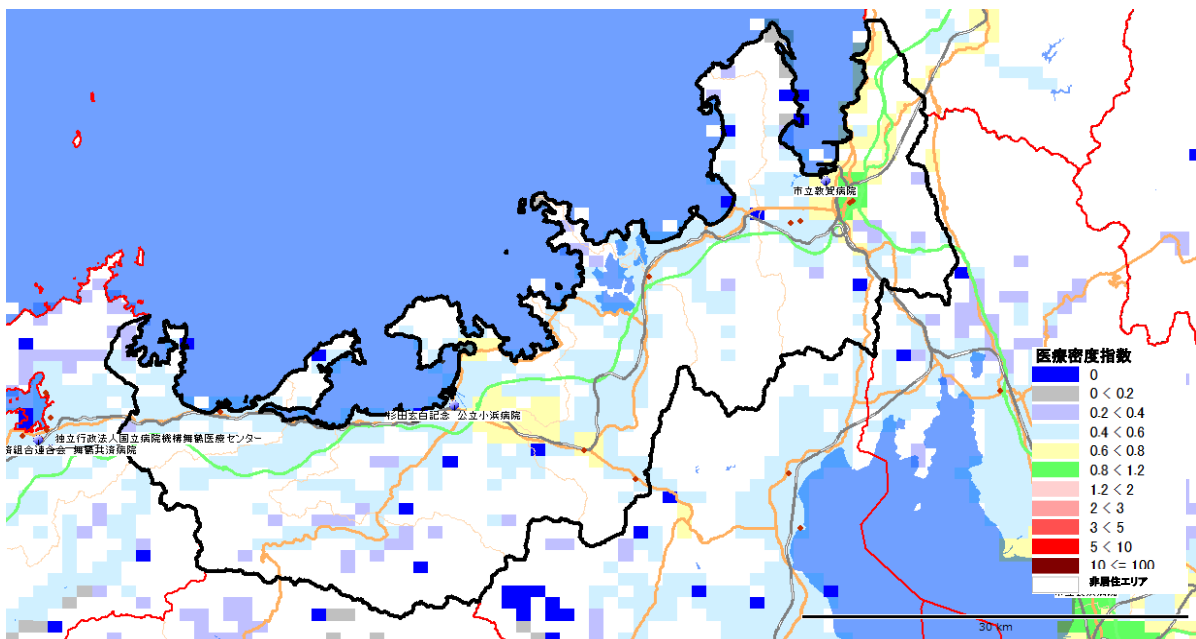


3. 医療密度⁵

図表18-4-1 急性期医療密度指数マップ



図表18-4-2 慢性期医療密度指数マップ



18. 福井県（2016年版）

注

¹1km²区画（1km²メッシュ）で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く（10,000人/km²以上）、黄色系統は中間レベル（1,000～10,000人/km²）、青色系統は人口が少ない（1,000人/km²未満）。白色は非居住地。
出所：国勢調査（平成22年、総務省）地図情報GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREAシリーズ

²その地域の住民が、どの程度の医療（急性期及び慢性期）を利用できるかの目安を示す指標。1.0が全国平均。0.8を下回ると少ない、0.6を下回ると非常に少ない、1.2以上充実、1.5以上非常に充実。

³【医療の現状】で使用した総医師数は、病院医師数（平成26年病院報告（厚生労働省 平成26年10月））と診療所医師数（平成26年医療施設調査（厚生労働省 平成26年10月））の合計。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】で使用した2014年の総医師数は、平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査（厚生労働省 平成26年12月）に基づく病院医師数と診療所医師数の合計。

⁴高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の75歳1,000人（推計）に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2016年の全国平均（99.3床）と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

⁵急性期医療密度、慢性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。

⁶日医総研WP no. 352「地域の医療提供体制の現状 -都道府県別・二次医療圏別データ集（2015年度版）を更新。ウェルネス・二次医療圏データベースシステム使用。

⁷複数医療圏にまたがる広域連合の医療費・介護費については、構成市町村の医療圏毎の75歳以上人口比で案分した上で、二次医療圏単位で集計している。

⁸近畿厚生局のデータは入手できていないため、合計値には含んでない。人口あたり病床数（全国値）の算出にあたっては、データを手に入れている地域の人口は除いて計算している。

⁹市町村国保の保険者単位のデータしかないため、同一の保険者において複数の二次医療圏をもつ横浜市と川崎市は保険者単位で算出している。

「入院」は、入院診療及び食事療養・生活療養の計である。

「入院外+調剤」は、入院外診療及び調剤の支給の計である。

¹⁰日本医師会JMAP（地域医療情報システム）で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能 <http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。